

放棄セサル限り日本人ノ進出發展ハ事毎ニ妨害セサルヘカラストノ魂胆ヨリ発シ居ルモノト觀察セラル從テ最近支那側ノ遣口ヲ見ルニ総ヘテ屬地主義ヲ以テシ支那領土上ニ於テ支那官憲カ職務ヲ執行スルニ何等ノ不都合ヤアラン之ニ對シ条約ヲ盾ニシテ日本カ抗議的態度ニ出ツルハ支那ノ内政ニ干渉スルモノナリ若シ支那側官憲ノ措置ニ不滿ナリセハ宜シク任意退去スルアルノミトノ乱暴ナル見解ヲ以テ殆ント不平等の關係ヲ無視セル横暴ノ態度ニテ各地駐在帝國領事ヨリ如何ニ嚴重ナル抗議ヲ繰返ストモ相手方ニ於テ已ニ叙上ノ方針ヲ以テ不誠意極マル応酬ヲナスノ始末ナレハ最早筆舌ヲ以テ抗争スルモ何等ノ效果ヲ収ムル能ハス徒ラニ我方ノ威敵ヲ損フニ終ルノ実況ナリ之ニ對シ我方ハ如何ナル手段ヲ執ルヘキヤハ重大ナル問題ニシテ支那側現下ノ大勢ヨリ案スレハ条約上ノ權利ヲ放棄スルカ(事實ハ放棄セルト同様ノ狀態ニアリ)然ラサレハ実力ヲ以テ對抗スルカノ二途アルノミ然レトモ日々發生スル条約違反ノ小事件ニ對シテ其都度警察力乃至兵力ヲ用フルカ如キハ事實不可能ニシテ其結果ニ付テモ大局ヨリハ却ツテ我方ノ不利ヲ招クニ至ルヘキヲ虞ル然ラハ小事件ハ結局未解決ノ狀態ニ放

他日一括交渉ノ為本信各項ニ付条約上ノ根拠並ニ対策究

(2) 華北

四三〇 四月二十四日

在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

四方三工場罷工ニ對シ英米側經營ノ煙草工場職工、國民黨員等ノ声援ニ関シ取締方申入レノ件

第六八号

(四月二十五日接受)

四方三工場罷工ニ関シ当地英米「トラスト」煙草工場其他ノ職工並國民黨員等ハ米麵及金錢ヲ寄贈シ或ハ伝單ヲ撒布シテ声援ヲ与ヘ居ル模様ナルカ拙電第六一号ノ通四方機廠ニモ亦数日来同様ノ行動ニ出ツツアルヲ以テ昨二十三日館員ヲ鐵路局ニ派シ右取締方ヲ交渉セシメタルニ周副局長ハ既ニ工廠長ニ對シ禁止方ヲ訓令シタルモ何分職工ハ工場退出後此種運動ニ從事スルモノナルヲ以テ商埠警察庁ニ對シテモ右取締方ヲ移牒シタル旨回答アリタル趣ナルカ尚同副局長及大村技師ノ談ニ依ルニ明二十五日ヲ回答期限トスル四方機廠職工賃金値上ケ問題ニ関シテハ鉄道当局ハ罷工

置セラレ事實ハ当方ノ泣寝入ニ終リテ屈服スルノ結果ニ陥ルヘシ斯クテハ遂ニ条約上保障セラレタル權利モ其運用ヲ失スルニ至ルヘク延テハ帝國ノ威信ニ重大ナル關係ヲ及ホスモノトス玆ニ於テ現下各国間ニ問題トセラレツツアル條約改訂問題ニ對シ南北支那ニ於テハ列國ト協調ヲ保持スルノ必要アランモ滿蒙ハ他ノ地域ト其趣ヲ異ニシ特殊ノ關係ニアルヲ以テ右条約改訂會議ニハ先以テ滿蒙ヲ除外シ帝國ハ或ル程度迄滿蒙ニ於ケル支那側ノ希望ヲ容レルト同時ニ利害關係ノ重大ナル問題ニ関シテハ断乎タル決意ヲ示シ以テ我滿蒙進展上ノ機運ニ一転期ヲ画ササルヘカラスト思考ス若シ然ラスシテ現状ノ儘ニ推移シ單ニ書面上又ハ口頭上ノ抗議応酬ニ終始センカ日支關係ハ益々惡化シ滿蒙ニ於ケル帝國ノ勢力ハ漸次退歩スルナキヲ保シ難シ真ニ憂慮ニ堪ヘサルナリ本件ハ政府当局ニ於カレテモ夙ニ御考慮セラレ居ルコトト思考セラルルモ何等御參考迄ニ奉天省近來ノ對日態度報告旁々卑見申進ス

本信送付先 哈爾賓、吉林、間島各總領事、在支公使、牛莊領事館事務代理、安東、遼陽、鉄嶺各領事

(欄外記入)

勃発ヲ予防スルカ為メ六月末ノ定例昇給期ヲ繰上ケ本年一月以降ノ採用者ヲ除キ其他ニ對シテハ平均一割ノ増給ヲ實施スルコトトセル趣ノ処右ハ結局職工側カ其要求ヲ貫徹セル事トナルヲ以テ罷工中ノ紡績工場ニ自然惡影響ヲ及ホスヤモ計ラレスト思考セラレ

尚戒嚴司令部ニ於テハ二十三日ヨリ上海方面ト当地罷工団ト往復スル電報ノ檢閲ヲ開始シ罷工運動ノ激成ヲ防止シツツアリ

北京、上海へ転電シ濟南へ暗送セリ

四三一 四月二十四日

在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

青島紡績会社罷工ガ漸次拡大、波及ノ虞アル
ニツキ警察官ノ急派方詮議アリタキ件

第六九号

当地紡績会社ノ罷工ハ漸次拡大シテ二十三日内外綿二十四日日清紡績ニ及ヒ更ニ滄口ノ各社ニ波及スルノ虞アリ当館ハ殆ト全員ノ警察官ヲ現場ニ派遣シ昼夜兼行極力邦人及工場ノ保護ニ当ラシメ居ル処警察官モ追々疲勞シ来リ若シ此

上滄口ノ各紡績ニ及ハンカ一層保護取締上困難ヲ感スルニ付差当リ坊子出張所ノ巡查二名ノ来青ヲ求ムルコトナセルモ尚応援ノ為メ濟南ヨリ巡查六、七名至急派遣方御詮議相成度シ

濟南へ転電セリ

四三二 四月二十六日 在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

青島紡績罷工ノ経過ニ関スル觀察申進ノ件

第七三号

(四月二十七日接受)

当地方紡績罷工ノ状況ハ屢次電報ノ通ナルカ事態ヲ明瞭ナラシムル為多少ノ重複ヲ顧ミス本官ノ觀察ヲ左ニ申進ス

一、罷工ノ原因ハ主トシテ外部ニ在ルカ如ク本月上旬頃当地鉄道職工ノ私立学校職員等ハ先ツ大康社廠ノ職工等ヲ結合シテ工会ヲ組織セシメ罷工ノ手段ニ依リ団体交渉權ヲ待遇条件トフ会社ニ承認セシメント画策中偶々会社側ニ於テ職工ノ内通ニ依リ之ヲ探知シ二三職工ノ家宅搜索ノ結果往電第五八号ノ如キ多数ノ秘密文書ヲ発見シ十数時間彼等ノ動靜ヲ監視シタル為主謀者等モ愈々意ヲ決シテ罷工ヲ始メ

ノヲ生シ又内外綿職工ハ賃銀支払前ニ罷工セル為多少内訌アリタル趣ナルモ未タ会社側ニ復帰セントスルモノナシ又罷工者ハ工場又ハ邦人ニ危害ヲ加ヘタルコトナク只反對宣傳「ビラ」ヲ散布セル支那人ヲ毆打シ職工宿舍ニ寄付カントセル邦人ニ投石シ我警察官ヲ罵リタルコトアルノミ而シテ彼等ハ支那官憲ニ反抗スルノ色ナキノミナラス警察庁長等ノ調停ニ依頼シ居ルカ如ク又外部ニアリテハ上海勞工總會膠濟津浦各鉄路工会濟南各工会等ヨリ応援者又ハ金員ヲ送り来リ又当地ノ学校、新聞等ニ關係セル国民党系ノ主義者モ陰ニ援助シツツアル模様ナリ

三、会社側ノ態度ハ既報ノ如ク既ニ罷工ヲ開始セル以上ハ何時迄モ休業シテ職工側ノ屈伏ヲ待タントスルニアリ大康ハ最初警察庁長等ノ調停ニ応シ一旦多少讓歩ノ意ヲ示シタルモ内外、日清ノ罷工以來他ノ会社側ト協調ノ為メ妥協ヲ中止シ居リ又二十一日反對宣傳失敗以來三社トモ職工ニ對シテハ何等手出しスルコトナク唯工場ノ保護ニ努メツツアリ

四、支那側官憲ハ大康ノ罷工勃発前ニアリテハ首謀者ノ抑圧ヲ肯シセス又会社側ニテ是レヲ解雇スルコトニモ反對シ

タルモノト思ハル、(一)上海ノ罷工後三、四名ノ共產主義者当地ニ入込ミタル形跡アリ四方鉄路機廠内ニモ若干ノ主義者アリ相呼応シテ策動シタル模様アルコト、(二)罷工ニ先チ主謀者ハ約十名宛ノ職工ヲシテ単ニ相互親睦ノ旨ヲ誓約セシメ之ヲ統合シテ工会トナシ中央執行委員及副委員各十名並各委員ノ補助十名宛ヲ設クル等用意極メテ周到ナルコト、(三)二十九日夕六時僅ニ二時間ノ猶予期間ヲ以テ大康ニ要求条件ヲ提出シ九時過ニ至リ直ニ罷工ヲ決行シタルコト等ノ事実ヲ綜合スレハ罷工者ノ外来煽動者ノ指揮下ニ動キツツアルコトヲ窺知シ得可シ尤モ内部ノ原因トシテ平生一袋銀二円台ノ米利堅粉カ現在三円六、七十仙ナリ其ノ他ノ代用食料品モ亦騰貴シ居ルコトモ職工ヲ罷工ニ導ク副因ナリシヤニ思考セラレ

二、罷工者ノ行動ヲ見ルニ今日迄ノ処案外結束固ク且暴挙ヲ避ケ居ルコトハ注目ニ値ス今回ハ上海ノ場合ト異ナリ職工ハ勿論工場ノ門衛使丁ニ至ル迄支那人ハ全部休業シ罷工者ハ皆宿舍内ニ集合シ敵ニ出入ヲ監視シ糾察員ナルモノヲ設ケ仲間ノ行動ヲ視察セシメ日刊新聞ヲ発行スル等結束方法巧妙ヲ極メ居レリ尤モ大康ノ職工中ニハ追々帰郷スルモ

居タルカ罷工後ハ保安隊及軍隊ノ派遣等工場ノ保護ニ付大抵我方ノ要求通りニ取計ヒ且職工ノ要求条件ニ就キ会社側トノ間ニ調停ヲ試ミツツアルモ首謀者ノ檢束ニ付テハ今尚多少躊躇シ居ル模様アリ右ハ目下山東督弁問題ニ関連シテ当方面ノ官場ニモ多少動搖ノ色アリ為ニ罷工ニ就キ彈圧手段ヲ執リ得サル事情アルニ非スヤト察セラル尤モ支那側官憲モ罷工者ヲシテ暴挙ナカラシムル様十分努力シ居リ現今二十六日ニハ四方三工場ニ保安隊四個中隊軍隊二中隊ヲ配置シ且之カ指揮者トシテ夫々大隊長及營長ヲ派遣シ居レリ

尚商總會幹部ハ自ラ工場ヲ有スル關係モアリ旁罷工ノ調停ニ引続キ尽力シ居レリ

五、當館トシテハ一面支那側官憲トモ密接ニ連絡ヲ取り邦人及工場ノ保護並日支人間ノ衝突ヲ避ケルコトニ努ムルト共ニ他面会社側ヲシテ飽迄モ冷靜ナル態度ヲ持續セシメ罷工者ノ疲レ来ルヲ待チ適宜妥協セシメン方針ナリ

北京、上海ニ転電シ濟南ニ暗送セリ

四三三 四月二十七日

在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

青島罷工ニツキ外交部ニ対シ速ニ適切有効ナル
ル措置講ゼラレタク申入レタル旨芳沢公使来
電ノ件

第七四号

在支公使発本官宛電報第一七号

大臣宛貴電第七一号ニ関シ

四月二十五日不取敢外交部ニ対シ速ニ適切有効ナル措置ヲ
講シ全力ヲ挙ケテ鎮圧ヲ期スル様地方官憲へ厳達方申入レ
置キタリ
外務大臣ニ転電アリタシ

四三四 四月二十八日

在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

青島各紡績罷業者ノ動向ニツキ報告ノ件

第七五号

往電第七二号ニ関シ

青島糸廠ハ從來職工待遇等好評ナリシニ拘ラス紡績罷工者

第四二号

今回ノ罷業ニ関シ貴官、館員並ニ警察署員不眠不休ノ努力
ハ大イニ多トスル所ナルカ当方ニ陳情シ来レル關係会社幹
部ノ意向モ持久策ヲ取り罷業者ノ困憊ヲ待チテ適宜措置ス
ヘキ模様ナルニ付テハ

(1)上海ノ如ク他ニ適當ノ仲裁者ナキ貴地ニテハ商總會側ト
予メ密接ナル連絡ヲ取り機会ヲ逸セス調停ノ勞ヲ執ラシ
ム

(2)持久策ノ結果職工側モ衣食ニ窮スル際煽動ニ乘リ工場其
他ニ対シ暴行ヲ加フルナキヲ保シ難キニ付危機予防ノ責
任ヲ執ラシムル意味ニテ支那官憲ニ戒告シ上海ノ例ニ倣
ヒ好機ヲ捉ヘ事前ニ主謀者ノ検束等適宜ノ措置ヲ執ラシ
ムル様

此上トモ精々御尽力相成タシ
北京、上海、濟南へ暗送アレ

四三六 五月三日

在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

罷工ノ解決促進ノタメ戒嚴司令部參謀長、督

ノ煽動ニ依リ職工動揺セルヲ以テ既報ノ通り会社側ヨリ機
先ヲ制シテ休業ヲ宣シタルカ職工側ヨリハ其後何等要求条
件等ノ提出ナク会社指示通り二十七日給料及旅費ノ支給ヲ
受ケ遠隔者ハ汽車其他ハ徒歩ニテ何レモ帰郷セリ

罷業者ハ其後滄口各紡績工場ニ対シ交渉ヲ試ミ居ル模様ア
リ各社トモ月末給料日ヲ控ヘ居ルコトトテ特ニ警戒シ居ル
モ幸ヒ今二十八日午前迄無事ナルヲ得タリ又往電第六八号
末段ニ関シ四方機廠職工ハ鐵路局一律一日七仙ノ増給方通
知ニ対シ未タ満足セス寄々對抗策協議中ノ模様ナルモ本日
迄ハ平常通り就業シ居レリ

猶警察庁長ハ其後モ会社職工間ノ妥協ヲ試ミムトシ二十七
日本官ヲ経テ会社側ニ賃銀増率ノ承諾方ヲ申込ミタルモ各
社トモ右ハ将来ニ惡例ヲ貽シ且上海其他各工場ニ惡影響ヲ
与フルニ付承認シ難シトテ堅ク拒絶セリ
在支公使及上海ニ転電シ濟南ニ暗送セリ

四三五 四月三十日

幣原外務大臣ヨリ
在青島堀内総領事宛(電報)

青島紡績罷工ニ対シ措置振リ訓令ノ件

并ニ要求条件提出ノ件

第七九号

(五月四日接受)

往電第七八号ニ関シ

罷工勃発以來既ニ数旬ヲ超ヘ罷工団モ追々疲レ来ルト共ニ
賃金支払後帰郷スル者続出シテ結束漸ク弛緩ノ徵アリ他方
ニ於テ支那官憲ハ今尚往電第七三号ノ(四)後段ノ如キ警備ヲ
継続シ居ルモ時恰モ山東及膠澳兩督弁ノ更迭ニ際会シ当地
駐屯ノ戒嚴司令部軍隊モ近ク引上ノ模様アリ(王司令ハ多
分部下ヲ率ヒ鄭督弁ト共ニ安徽ニ移駐ノ筈)温督弁モ数日
来殆ト事務ヲ見ス当商埠ハ一時行政ノ首腦者ヲ欠カムトス
ル実情トナリ保安ノ直接責任者タル陳警察庁長モ何レ日ナ
ラス辭職ノ止ムナキ場合ナルニ顧ミ本官ハ此際ナルヘク速
ニ罷工ヲ解決スルノ必要アルヲ認メタルヲ以テ去月三十日
午後戒嚴司令部參謀長(司令官ハ濟南ニ赴キ不在)ヲ又翌
一日午前ニハ温督弁ヲ訪問シ外来煽動者ニ対シ支那側取締
ノ威力ヲ示スト共ニ善良職工ヲ彼等ノ拘束ヨリ救出シ以テ
罷工ノ解決ヲ促進スル趣旨ニ依リ
(一)速ニ外来煽動者ヲ検束スルコト(但シ職工中ノ煽動者ニ
ハ今暫ク手ヲ着ケス)

(二)各工場宿舍(何レモ工場外ニ会社ニテ建設セルモノ)ハ目下罷工者ニ占領セラレタルカ如キ形トナリ外来煽動者及他工場ノ者雜居シ居ルカ故ニ支那官憲ニ於テ之ヲ整理シ当該工場職工以外ノ者ハ一切退出セシムルコトヲ要求シタルニ何レモ早速警察庁長ニ重ネテ通達スヘキ旨ノ挨拶アリ猶其後參謀長ニハ「メーデー」ニ當リ罷工団ノ示威運動ヲ禁止シ且四方及滄口ノ警備ヲ嚴ニスル様申入レ置キタルカ當日ハ四方機廠職工千余名ハ大会ヲ催シタルモ紡績職工ハ之ニ加ラス滄口ノ各工場モ無事ナルヲ得タリ其後警察庁長ハ戒嚴司令部及督弁公署ト打合セタル結果ニヤ昨二日本官ヲ來訪シ

(一)外来煽動者ノ或ルモノハ既ニ当地ヲ去リタルカ如ク殘存者ノ内居所ヲ突止メ居ルモノハ直ニ檢挙スヘシトテ日本側密偵支那人ノ立会ヲ求メ

(二)宿舍整理モ直ニ実行スヘシト告ケ同時ニ会社側ニ於テモ此際多少妥協的態度ニ出テラレタク若シ会社側ニ於テ操業開始後間モナク自發的ニ職工優遇ノ途ヲ講スルコトトシ其具體案ヲ予メ當館ヲ經テ同庁長迄示サルルニ於テハ自分ハ罷工者ニ對シ無條件復業方説諭ヲ試ムヘシ

社側ノ希望ニ依リ宿舍監視ノ任ニ當リ居タル保安隊及陸軍兵モ五日ヨリ撤退シ少数ノ巡警ヲシテ之ニ代ラシメタリ又三日夜半ニ至リ支那警察官ハ大東鎮小学校教員鄧恩明宅ニ踏込ミ家宅搜索ヲナシ多数ノ文書(内ニハ罷工後援宣伝文書アリ)ヲ押収シ本人ヲ警察庁ニ引致シタルモ同人カ果シテ煽動者ナルヤ否ヤハ尚不明ナリ

二、警察庁長ノ調停案ニ對シテハ会社側ハ依然トシテ応諾セス引続キ形勢觀望中ナルカ一方市民公会關係ノ日支兩國委員ハ其ノ後在滄口日支工場ヲ視察シ罷工調停案ヲ作製セントスル模様見エタルニ付本会ハ右公会ノ性質ニ顧ミ我委員ヲシテ婉曲ニ之ヲ中止セシメ單ニ事實調査ノ結果ヲ發表スル位ニテ手ヲ引カシムル様取計フト同時ニ日支ノ重ナル実業家ヲシテ新ニ調停ヲ試マシムル様手配中ナリ

三、当地青島大学学生等ハ四日所謂五四運動ノ由來及二十一ヶ条ヲ印刷セル伝單ヲ市中ニ散布シ且路上演説ヲナシタルノミナラス五日ニハ中等学校等ト連合シ罷工後援ノ演説會開催ノ筈ナル旨探知シタルニ付早速督弁公署ニ之カ禁止方申入レ其ノ承諾ヲ得タルカ同日ハ遂ニ右開催ヲ見合セタリ

ト申出テタリ依テ本官ハ会社代表者ト協議ノ上兎ニ角支那官憲ニ於テ前記ノ我要求事項ノ実行ヲ見届ケタル上ニテ先方ノ申出ヲ考慮スヘキ旨ヲ回答シ置キタルカ檢挙及宿舍整理ハ今三日何レモ実行ノ筈ナリ

猶本月一日青島市民公会ノ主催ニテ日支ノ実業及新聞關係者数十名會合シ罷工調停問題ヲ討議ノ末日支人二名宛ノ委員ヲ挙げ罷工者及会社双方ノ主張ヲ聴取シ何等カ妥協点ヲ見出サムト試ミ居ルモ其成功ハ余リ期待シ難キカ如シ北京、上海ヘ転電シ濟南ヘ暗送セリ

四三七 五月六日 在青島堀内總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

警察庁及比戒嚴司令部ノ罷工取締リニ關シ報告ノ件

第八四号
拙電第七九号ニ關シ

一、三日警察庁及戒嚴司令部ハ共同シテ一斉ニ各職工宿舍ノ整理ニ着手シタルモ其ノ方法宜シキヲ得ス不結果ト認メラレタルニ付中止セシムルノ已ムナキニ至レルカ尚之迄會

四、^ン省議會副議長、^ン交渉署課長及莊実業庁課長ハ罷工事情取調ノ為四日濟南ヨリ來青シ當館ニ對シ罷工中止工場參觀方希望シタルニ依リ館員ヲシテ日本紡ニ案内セシメタルカ其ノ際一行ハ職工代表ニモ面會シ罷工運動ハ労働連合總會ノ範圍ニ局限スヘク決シテ他工場ヲ誘引シ或ハ国交ニ關係スルカ如キ言動ヲナササル様交々勸告シタル趣ナリ一行來青ノ目的ハ主トシテ罷工ノ原因等ヲ調査シ濟南方面ヘノ伝播ヲ予防セントスルニアルカ如シ
公使、上海ニ転電シ濟南ヘ暗送セリ

四三八 五月七日 幣原外務大臣ヨリ
在濟南吉沢總領事代理宛(電報)

青島罷業取締リニ關シ張督弁ニ申入方訓令ノ件

第一一号

青島罷業ニ關連シ貴官ハ新任張督弁ニ面會シ左ノ主旨ヲ申入レラレ且罷業ノ情況殊ニ支那側取締不徹底ノ実情工場保護ノ手薄ナルコトヲ別ニ説明セラレタシ

上海罷業ノ際ニ於ケル張督弁ノ好意的取締ハ我方ノ衷心多

トスル次第ナルカ今回ノ四方罷業カ未タ解決ヲ見サルニ付
テハ督弁ノ新任ヲ機トシ外来煽動者ノ檢束其他有効適切ノ
手段ヲ以テ罷業解決方努力アランコトヲ希望ス
北京、青島へ暗送アリタシ

四三九 五月九日 在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

罷工解決ニ関シ日中調停者間ニ協定成立シ近
ク工場操業開始ノ運ビトナル件

第八八号
往電第七八号ニ関シ

其後日支両調停者(日本側本官及商業會議所評議員清水、
村知、田辺ノ三名、支那側陳警察厅长、徐戒嚴司令部副官
長、隋商總會長、宮同副會長)ノ間ニ商議進行中ナリシカ
八日夜半ニ至リ協定成立セリ多分十日ヨリ三社共操業開始
ノコトナルヘシ委細後報
北京、天津、濟南ニ転電セリ

タルモノナリ

又会社ニ於テハ復業ニ先立チ日支調停者一同ニ対シ別電第
九一号ノ声明書ヲ提出スルコトナレルカ右ハ新聞紙上ニ
発表スル筈ナリ

尚罷工者中主謀者三社合計五十一名ニ付テハ支那側調停者
ヨリ諭旨解雇ヲ為サシメ会社側ヨリ一人ニ付賃銀三ヶ月分
及銀五十円涙金ヲ一括支那側調停者ニ交付シテ之ヲ各本人
ニ分配セシムルコトナレリ

本電別電ト共ニ在支公使、上海、濟南ニ転電セリ

(別電一)

五月九日在青島堀内総領事発幣原外務大臣宛電報第九〇号
日本側会社ガ従業員復業ト同時ニ実施スベキ事項

第九〇号

- 一、工場ハ八月十五日間出勤シタル職工ニ対シ各等ノ麦粉一
袋ニ限り製粉会社卸値段ヨリ四角ヲ減シ売与ス
- 二、昼夜トモ食費一仙宛ヲ増加ス
- 三、毎月工賃ハ成ルヘク速ニ支払フ
- 四、就業中負傷シタル職工ニ対シテハ従前通工賃ヲ給ス
(医薬費ヲモ支給スヘシ)

四四〇 五月九日 在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

罷工解決ニ関スル日中調停者協定ノ趣意ニツ
キ申進ノ件

別電一 同日在青島堀内総領事発幣原外務大臣宛電報
第九〇号

日本側会社ガ従業員復業ト同時ニ実施スベキ
事項

二 同日在青島堀内総領事発幣原外務大臣宛電報
第九一号

日本側会社ガ復業ニ当リ日中調停者ニ提出ス
ベキ声明書

第八九号

拙電第八八号ニ関シ

日支調停者協定ノ趣意ハ先ツ支那側調停者ハ責任ヲ以テ職
工ヲ無条件復業セシムヘク又日本側ハ会社ヲシテ職工ノ復
業ト同時ニ別電第九〇号ノ諸事項ヲ自発的ニ実施セシムル
コトニアリ右ハ日支調停者内部ノ了解事項ニシテ一切外部
ニ公表セサルモノナルモ其内容ニ付テハ既ニ会社側ノ内意
ヲ確メアリ又支那側ニ於テモ職工代表ニ之ヲ暗示シ納得シ

五、食事時間ハ従前通三十分トス但シ日勤ハ午後三時ニ夜
勤ハ午前三時ニ夫々十五分宛ノ休息時間ヲ給セラル

六、今後工場職員並ニ職工ヲ打擲罵詈スルヲ得ス但シ確ニ
重大ナル過失アルモノハ之ヲ解職スルコトヲ得

七、今後賞罰ハ必ス公平タルヘシ

八、今般復業ニ際シ工賃ノ外ニ二日分ノ工賃ニ相当スル金
員ヲ給ス但シ五日以内ニ出勤シタルモノニ限り此權利ヲ享
有セシム

(別電二)

五月九日在青島堀内総領事発幣原外務大臣宛電報第九一号
日本側会社ガ復業ニ当リ日中調停者ニ提出スベキ声明書

第九一号

- 一、工場ハ職工ニ対シ従前通り特別ニ優待ス
- 二、成績優良ノ者ニ対シテハ特ニ随時賞与スヘシ
- 三、工賃精算後ハ可成速ニ支払フヘシ
- 四、従来職工ノ風紀及衛生ニ遺憾ノ点多シ今後ハ必ス改良
シ工場ノ規則ヲ遵守スヘシ

四四一 五月九日 在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

罷工解決ノタメノ日中両国実業家間調停ノ結果協定成立ノ件

第九二号

往電第八九号ニ関シ

今回罷工ノ調停ハ結局日支ノ実業家ヲシテ之ニ当ラシムルコト最モ適当ト思考シタル処幸ヒ既報ノ如ク商總會正副會長隋及宮ハ当初ヨリ熱心ニ奔走シ来リ本官ニ於テモ之ト密接ナル連絡ヲ保持スルニ努メタルカ貴電第四二号御訓示ノ次第モアリ数日前更ニ彼等ト昵懇ノ一邦人ヲシテ側面ヨリ調停ノ必要ヲ力説セシメ置キ一方往電第八八号ノ商業會議所三幹部ハ商總會幹部トノ間ニ調停問題ノ下話ヲ遂ケ会社側トモ打合セノ上一応腹案ヲ作成シタルニ付本官ハ之迄ノ成行ニ顧ミ先ツ陳警察庁長ノ了解ヲ得テ前記ノ日支実業家間ニ右腹案ヲ基礎トシテ予備商議ヲ行ハシムルコトトセリ右予備協議ノ結果六日夜一応話合ヒ付キ支那側調停者ハ七日朝ヨリ職工代表者ヲ招致シテ其意向ヲ確メタル上同日夕刻ヨリ警察庁長モ参加シテ更ニ協議ヲ進メ日本側ヨリ幾分

讓歩ヲナシ一旦大体往電第八九号ノ趣旨ニ依リ職工側ヲ説得スルコトナリタルカ昨八日未明ニ至リ支那調停者ハ態度ヲ一変シテ日本側ニ対シ新ナル讓歩ヲ要求シタル為メ調停ハ行悩不調ニ終ラントスルニ至レリ依テ本官ハ同日陳庁長ニ対シ隋會長ト折衝上是非共右調停原案ノ通り取纏ムル様協力尽力スルコトヲ約サシメタルカ支那側ニテハ再ヒ職工代表ヲ招致シテ説得ニ努メ昨夜ニ至リテ支那側調停者一同本官ヲ来訪シ漸ク前記ノ案ニテ職工側ヲ納得セシメ得タルニ付責任ヲ以テ職工ヲ復業シムヘキ了解ヲ申出タルニ依リ直ニ日本側各調停者及徐副官長ヲモ招致シテ夜半ニ及ヒ調停案(往電第九〇号)確定ノ上一同之ニ署名シタル次第ナリ

北京、上海ニ転電シ濟南ニ暗送セリ

四四二 五月九日 在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

青島紡績罷工中ニ於ケル五四記念等ニ関連スル学生等ノ示威運動ニツキ報告ノ件

第九三号

(五月十日接受)

ル件

当地ノ五四、五七及五九ノ三記念日ハ恰モ紡績罷業中ニシテ学生等ハ之ニ援助ヲ為スヤノ噂アリタルニ依リ督弁公署ニ対シ取締方要求シ置キタルモ五四ニハ青島大学生ハ二十一ケ条ヲ印刷セル伝單ヲ撒布シ又五九ニハ各校学生等約三百余名隊伍ヲ組ミ示威運動ヲ為シ二十一ケ条及国民ノ自覺ヲ促ス意味ヲ記載セル伝單ヲ撒布シ又屋外演説ヲ為セルモ一二時間ノ後何レモ解散セリ

北京、濟南へ暗送セリ

四四三 五月九日 在濟南吉沢総領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛

青島罷業取締リ申入レニ対スル張督弁ノ回答報告ノ件

機密第三三号 (五月二十日接受)

大正十四年五月九日

在濟南

総領事代理 領事 吉沢 清次郎(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

在青島紡績罷業取締ニ関シ張督弁ニ申入方訓令ニ関ス

二 中国ノ排日排英運動狀況 四四三

本件ニ関シ貴電第一一号御訓令八日朝接到早速張督弁ニ面会ヲ申入レ候カ往電第一五号所報ノ通張ハ六日着濟七日事務引繼ヲ了シタル許リニテ勿論各国領事へ就任挨拶ヲ為スノ違ナカリシ際ノコトトテ異例ニ互ルヘキモ特ニ緊急ノ案件ニ付大臣ヨリ訓令ニ接シタルヲ以テ至急面談ヲ希望スル次第ナル旨申添ヘ置キタルニモ不拘同日午後先方ヨリ本官ヲ来訪スヘキ由回答アリタルニ依リ待チ受ケタルニ更ニ後刻交渉員ヨリ九日午後トシ度旨通知シ来レルヲ以テ不取敢館員ヲ副官長ノ許ニ遣ハシテ御訓令ノ趣旨ヲ篤ト説述セシメ直ニ督弁ニ伝達シテ其好意的考量ヲ得度旨申入レシメ置キ候

然ルニ九日朝ニ至リ堀内総領事ヨリ閣下宛電報第八八号転電ニ接シタルヲ以テ午後督弁来訪ノ際ニハ

上海罷業ノ際ニ於ケル張督弁ノ好意的取締ハ我方ノ衷心ヨリ多トスル処ナル旨並ニ今回青島ノ罷業ハ新任早々多忙ノ督弁ヲ煩ハサスシテ解決スルヲ得タル趣ナルカ尚今後トモ本邦事業家ノ山東方面ニ於ケル經營施設ニ付テハ出来得ル限りノ援助ヲ得度旨

申述ヘタルニ張ハ今回ノ罷業ハ自分モ遺憾ニ不堪着任ト共

ニ青島王戒嚴司令ニ対シ有効ナル取締方法ヲ講スヘキ様電報シ置キタル次第ナリト語リ候

右御訓令執行ニ付報告申進候 敬具

写送付先 在支公使、在青島総領事

四四四 五月十一日 在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

我が六紡績会社代表ニ調停ノ趣旨説示並ビニ

罷工団側ニ調停ノ趣旨ヲ説得セル件

第九四号

往電第八九号ニ関シ

九日午前我六紡績会社代表者ヲ当館ニ招致シ日本側各調停者立会ノ上正式ニ往電第九二号調停ノ趣旨ヲ説示シタルニ一同極メテ満足ノ意ヲ表シ会社側ニ於テ早速同調停案ノ実行準備ニ取掛ルコトナレリ始メ会社側ニ於テハ十日午前六時ヨリ操業開始ヲ希望シ支那側ニ於テモ夫レ迄ニ職工復業ノ準備ヲ終ヘ且主謀者ノ諭旨解雇モ片付ケ呉ルモノト期待シ居タル為九日午後職工ニ対シ復業ニ関スル告示及伝

往電第九四号ニ関シ

職工代表カ支那側調停者ノ説諭ニ納得シタル後十日午後三時頃大康職工宿舍内ニ三社ノ職工約三千集合シテ大会ヲ開キ各紗廠工会ノ立札ヲ並ヘテ演壇ヲ設ケ支那側調停者カ日本側三調停者(本官以外ノ)ト共ニ臨場スルヤ喇叭ヲ吹奏シテ迎ヘ職工代表闊思早ノヲ一同ニ紹介シテ歡迎ヲ大唱シ支那側ノ調停者ハ夫々挨拶ノ上引上ケタルカ其後諭旨解雇トナレル職工代表者ハ一同ニ対シテ自分等五十名ハ犠牲トナリテ解雇サレタルモノナレハ万一他ノ職工カ解雇サルルカ如キコトアラハ外部ヨリ援助スヘシト演説シ五月十日ヲ永久ニ記念スヘシト工会万歳ヲ唱ヘ記念撮影ヲ為シテ散会セル趣ナリ(大会中三千ノ職工カ一人ノ代表指揮ノ下ニ機械ノ如ク行動シタルニハ臨場ノ邦人皆驚キ居レリ)又職工ハ同日工場付近ニ各紗廠工会事務所ヲ設ケ罷工勝利宣言ト題スル印刷物中ニ今回罷工ノ結果経済的收穫ハ鮮キモ日本鬼子ヲシテ職工ヲ殴打セサルコト及勝手ニ罰金ヲ課セサルコトヲ承認セシメタルハ大成功ナリト誌シテ之ヲ撒布シ復業ノ際ニハ日本紡織工ノ如キハ先頭ニ楽隊ヲ付ケ工場ノ入口迄解雇サレタル職工代表ニ引率サレテ繰込ミタリ然レ

単配付ヲ為シタル所罷工者側ニハ調停ノ趣旨未タ徹底シ居ラサリシモノト見エ罷工団中之レ迄ノ職工代表ニ反對スル運動ヲ執リ且内外綿ノ二邦人職工ヨリ殴打サルルカ如キ事故ヲ惹起シタルモ昨今兩日ニ涉リ支那側調停者ヨリ百方罷業団ノ説得ニ努メタル結果午後六時ヨリ愈復業スルコトトナリ三社共職工ノ約六割五分(四方付近ニ留マリ居タルモノノ殆ト全部)出勤シテ静肅ニ作業ヲ初メタリ

尚青島糸廠ニテハ過日来職工側ヨリ復業ヲ申出スルモノ多カリシヲ以テ既ニ七日ヨリ一部ノ作業ヲ始メタルカ明日頃ヨリ普通ノ如ク操業ヲ為ス筈ナリ又滄口各工場ハ其後モ異状ナシ

四四五 五月十一日 在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

大康紗廠宿舍ニ於ケル職場大会ノ模様報告ノ

件

第九六号

(五月十二日接受)

ト復業後ハ極メテ静肅ニ作業シ今十一日朝ノ交代時ニハ各社トモ八割乃至九割ノ出勤ヲ見タリ警備中ノ支那保安隊及巡警ハ本日中ニ全部引揚ケノ筈

上海ニ転電シ公使、濟南ニ暗送セリ

四四六 五月二十六日 在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

解雇従業員ノ取締方督弁公署ニ申入レ並ビニ

大康、内外、日清三社従業員ノ工場占拠ニ関

シ報告ノ件

第一〇三号ノ一 至急

四方紡績罷工ハ既報ノ如ク一先ツ調停ヲ見タルモ爾来解雇職工ハ各社別ニ工会ヲ組織シ職工全体ニ対シ指揮命令ヲ為シ公信機密第八〇号報告ノ如ク連日怠業状態ヲ続ケ各社トモ到底此儘推移シ得サル事態トナリタルニ付本官ハ督弁公署ニ対シ公文ヲ以テ解雇職工ノ取締及工会ノ解散ヲ要求シタル結果陳警察庁長ハ二十五日午後三時保安隊約三百名ヲ率ヒテ四方ニ至リ先ツ大康職工ノ主ナルモノヲ集メテ一時間半ニ互リ説得ノ後彼等ノ納得ヲ得タリト称シ同紗廠工会

ニ至リテ看板ヲ撤去シ更ニ内外綿ニ於テ同様職工説得ヲ試ミムトスル間際ニ大康ノ職工全部作業ヲ中止シ六時ノ交代時トナリテ大康内外日清三工場トモ昼夜兩班職工併セテ約七千ハ各工場ヲ占拠シ運轉ヲ中止シ多勢ヲ頼ミテ日本人職工ヲ工場内ニ寄せ付ケス爾來三社トモ工場ヲ全部職工ニ占領セラレタル形トナリ而シテ彼等ノ態度ハ刻々暴動化シ來リ内外綿職工ノ如キハ紡績機械ヨリ「ラツプボード」(長さ五尺余ノ鉄棒)ヲ拔取り又ハ木ノ枝ヲ切テ各自手ニ携ヘ邦人ヲ威迫シ大康及日清ニ在リテハ職工ノ家族其他ノ群集数百名閉鎖セル側門ヲ破壊シテ工場内ニ闖入シ職工ハ会社ノ邦人職工及當館ヨリ出張セル棚谷書記生及警察官ニ對シ投石シテ我巡查及職工係一名ニ輕傷ヲ負ハシメ(我警察官ハ自衛上已ムヲ得ス一、二回拔劍シ又一回空ニ向ケ拳銃ヲ発射セリ)(続ク)

編註 以下見當ラズ

四四七 五月二十六日

在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

青島罷工ノ暴動化ニ備ヘ罷業取締実行方督弁

警ノ実力ヲ以テシテハ前記三項ノ処置ヲモ完全ニ実行スルコト多分覺束ナシト思ハルルニ付万一ノ場合ニ備フル為往電第一〇三号末段軍艦派遣ノ件至急御配慮相成タシ在支公使、上海、濟南ニ転電セリ

四四八 五月二十七日

幣原外務大臣ヨリ
在青島堀内総領事宛(電報)

青島ノ事態急迫ノタメ驅逐艦等ヲ派遣シタルコト並ビニ罷業鎮圧ニ適切ナ手段ヲ講ズベキ旨督弁へ申入レ方訓令ノ件

第五三号 至急

貴電第一〇三号ニ関シ

(欄外記入一、二)
海軍省ト打合ノ結果不取敢旅順ヨリ驅逐艦二隻派遣スルコトトセリ尚陸戰隊準備ノ都合モアルニ付佐世保ヨリ龍田級軍艦一隻急派方手配済

抑モ青島還付以來鐵道沿線治安維持ノ責任カ支那側ニ帰屬シ居ルコトハ撤兵協定ノ明定スル所ニシテ當時取締上必要ノ武器モ亦我方ヨリ供給シタル等特殊ノ事情アルニ不拘今回ノ事態ヲ惹起スルニ至リタルハ帝國政府ノ最モ遺憾トス

二 中国ノ排日排英運動狀況 四四八 四四九

公署ニ申入レノ件

第一〇五号(至急)

(五月二十七日接受)

往電第一〇三号ニ関シ

今二十六日午後高坐弁ニ会见シ(目下督弁公署ノ事務ハ事實上坐弁はレヲ主宰シ居リ温ハ殆ント出勤セス)前電報告ノ如キ職工ノ暴狀並支那警官ノ無力ヲ詳細説明シタル処坐弁ハ之ニ對シ遺憾ノ意ヲ表スルト共ニ至急善後策ヲ講スヘキ旨ヲ言明シタルニ付之カ具体的方法ニ付応酬ノ結果(一)督弁公署ハ本日直ニ多数ノ保安隊及戒嚴軍隊ヲ四方ニ派遣シ之カ配備ノ充實ヲ俟テ工場占領中ノ職工ヲ一先全部工場外ニ退去セシムルコト(二)解雇職工ノ十名ヲ當商埠地外ニ驅逐スルコト(三)必ス各工会ノ解散ヲ実行スルコトヲ約諾セシメタリ尚其ノ際本官ハ今ヤ職工ノ行動ハ罷工ヨリ転ジテ暴動化シタルコト、各工場トモ現狀ノ下ニアリテハ職工ヲ工場外ニ退去セシメタル後暫ク休業スルノ已ムナキコト、並支那官憲ニ於テ工場ノ保護及暴行者ノ取締ヲ実行シ得サル場合ニハ本官ノ職責上邦人ノ生命、財産ノ保護ニ付別個ノ手段ヲ執ルノ外ナキコトヲ言明シオキタリ、高坐弁ハ秩序ノ維持ニ付テ飽迄責任ヲ竭スコトヲ言明シ居ルモ何分支那軍

ル所ナルカ目下関稅會議モ目睫ニ迫レル際各地ニ於テ此種罷業勃發シ暴動頻發スルニ係ラス支那側治安維持力ノ皆無ナルヲ暴露スルカ如キコトアランカ會議開催ニ関シ由々シキ結果ヲ招致スルナキヲ保セサルニ付テハ貴官ハ至急督弁ニ對シ右趣旨ヲ篤ト説明シ此際罷業鎮圧方ニ関シ全責任ヲ以テ迅速有効適切ナル手段ヲ講セシムル様嚴重御交渉相成結果回電アリタク尚万止ムヲ得サル場合ニハ邦人生命財産保護ノ為我方ニ於テ適當ノ措置ヲ執ルコトアルヘキモ其結果ニ對スル責任ハ全然支那側ニアルヘキ旨ヲモ併テ警告シ置カレ度シ

北京、濟南、上海へ転電シ天津へ暗送アリタシ

(欄外記入一) 發後海軍へ写送付ノコト

(欄外記入二)

軍艦派遣ニ付小林局長ト打合済 木村

四四九 五月二十七日

幣原外務大臣ヨリ
在中国芳沢公使宛(電報)

罷業鎮壓ノタメ適切ナル手段ヲ講ズルヨウ外
交部ニ對シ交渉方訓令ノ件

第三〇一号 至急

青島宛往電第五三三號ノ趣旨ニ依リ外交部ニ対シ至急御交渉アリ度尚同時ニ上海罷業ニ対スル支那警察ノ取締振ニ関シテモ先方ノ注意ヲ喚起セラレ結果回電アリタシ
青島、濟南、上海へ転電シ天津へ暗送アリタシ

四五〇 五月二十七日

幣原外務大臣ヨリ
在濟南吉沢総領事代理宛（電報）

青島罷業取締方ニ関シ張督弁ニ嚴重申入レ訓令ノ件

第一四号 至急

青島宛往電第五三三號ニ関シ

貴官ハ至急張督弁ニ面会ノ上往電第一一號ノ趣旨ヲ敷衍スルト共ニ前記青島宛往電ノ趣旨ニ基キ張ヲシテ至急取締方手配セシムル様嚴重申入結果回電アリタシ

北京、青島、上海へ転電シ天津へ暗送アリタシ

四五一 五月二十八日

在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛（電報）

青島罷工ニ対スル官憲側ノ取締り進捗セザル旨報告ノ件

第一〇七号

往電第一〇五号ニ関シ

二十六日高坐弁ト会見後陳警察庁長ハ本官ヲ来訪シ同電記載ノ職工暴行取締ニ関スル実行方法ニ就キ意見ヲ求メタルニ付本官ハ会社側代表者ト打合せノ上支那側ニ於テハ二十七日午前六時ノ昼夜職工交代前ニ軍隊及保安隊ヲ現場ニ派遣シ先ツ工場占領中ノ職工ヲ退去セシムル様要求シタル処陳庁長ハ之ヲ引受け且遅クトモ三日以内ニハ解雇職工ノ驅逐及工会解散ヲモ必ス実行スヘキ旨ヲ言明セリ然ルニ前電予想ノ如ク支那側ノ措置ハ全然失敗ニ終レリ即チ二十七日朝ニ至リ軍隊及保安隊ハ既ニ昼班職工ノ出勤後四方ニ到着シ督弁公署ヨリハ蔣秘書及牟外交課員派遣セラレタルカ彼等ハ職工ノ暴行鎮圧ニ付何等方針ノ確定セルモノナク又モ職工ニ復業ヲ説諭セントノ意向ヲ洩シタルニ付当方ヨリ断然之ヲ拒絕シタル為三社ノ巨頭ヲ集メ（日清ヨリハ遂ニ来会セス）会社側ニテハ工場整理ノ為一旦休業ノ外ナキニ付穩便ニ一先工場ヨリ退出スル様説諭シタル趣ナリシカ職工側ヨリハ休業中ノ賃銀支給ヲ督弁公署ニ要求シ同公署ニ於テ一旦之カ引受けヲ言明シタル模様ナルモ職工側ヨリハ更

出勤シ居ルモ大康及内外棉ハ作業ヲ為スコトナク工場中ニ立籠リ何レモ鉄棒ヲ携ヘ内外棉ノ如キハ工場ノ入口ヲ一ヶ所ノ内外部ヨリ閉鎖一切本邦人ヲ入レス日清ニアリテハ職工ハ二十五日以来工場ノ一部ヲ勝手ニ運転中ナルカ各社ノ職工トモ昨朝ヨリ投石其他ノ暴挙ハ止メ居レリ
在支公使、上海、濟南、奉天ニ転電セリ

四五二 五月二十八日

在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛（電報）

青島罷工ニ対スル処置振リ効果ナキ旨中国側ニ遺憾ノ意ヲ述べタル件

第一〇八号

（五月二十九日接受）

往電第一〇七号ニ関シ

今二十八日午前再ヒ各会社代表者ト協議ノ末先ツ支那側ニ対シ往電第一〇五号高坐弁ノ約諾セル三個ノ処置ヲ急速断行スル様要求シ万一支那側ニ於テ之ヲ実行シ得サル場合ニハ会社ニ於テ断然休業ノ旨警告シ一方支那側ニ職工ノ取締ヲ要求スルト共ニ必要ノ場合ニハ我陸戦隊ノ保護ノ下ニ其ノ目的ヲ達成スル様処置スルコトニ一応打合タリ依テ本官

ハ午後二時温督弁ニ会见シ(高坐弁モ同席)先ツ四方紡績工場問題カ罷工ヨリ怠業ニ移リ更ニ一転シテ暴動化セル經過ヲ説明シ之ニ対シ今日迄支那側ノ処置カ何等ノ効果ナク却テ事態ヲ益々悪化セシメタルコトハ頗ル遺憾ニ堪エサル旨ヲ述ヘタル上貴電第五三号ノ趣旨ヲ敷衍シ且会社トシテモ往電第一〇七号督弁公署ノ案ノ如ク工場ヲ現状ノ儘当分差置クコトハ到底不可能ナル旨ヲ付言シタルニ温督弁ハ先ツ今回ノ事件ニ就キ遺憾ノ意ヲ表スルト共ニ元ヨリ当商埠内ニ於ケル外人ノ生命財産ノ保護ニ付テハ全責任ヲ負フ旨ヲ言明シタル後唯督弁公署トシテハ前記ノ職工取締ノ措置ヲ実行スルニ当リ彼等ノ極端ニ昂奮セル現状ニ鑑ミ成ルヘク会社ノ損害ヲ少ナカラシメントノ趣旨ヨリ昨日ハ強硬手段ヲ見合ハセタルニ外ナラスト頻ニ弁解ヲ試ミ会社側ニ於テハ万一ノ損害ヲ考量セラレサルヤト反問シタルニ付会社側ニ於テハ却テ工場ヲ現状ノ下ニ置クトキハ本邦人職員ノ感情ヲ刺激シ却テ日支人間ノ衝突ヲ惹起スル危険ヲ憂慮シ居リ又万一支那官憲ノ断然タル処置ニ伴ヒ工場ニ損害ヲ与フルコトアラハ夫ハ元ヨリ支那側ノ責任ニ帰スヘキモノナリト応酬シ同督弁ニ対シ善後措置ノ言明ヲ促シタル

弁ハ之ヲ承諾シ尚本日中ニ当地ヨリ旅長ヲ派遣シ責任ヲ以テ解決スヘキ旨ノ回答アリタル趣ナリ

四五四 五月二十九日

在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

中国側ヨリ軍警ヲ総動員シ四方各工場占拠中
ノ従業員排除ヲ実行スル旨通告アリタル件

第一一〇号

往電一〇八号ニ関シ

午後ノ会见後温督弁王司令等ハ五六時間ニ互リ会議ヲ開キタル趣ナリシカ夜十一時ニ至リ牟外交課員ハ督弁ノ意ヲ受ケテ本官ヲ来訪シ支那側ニ於テハ愈々今晚直ニ軍隊及警察官ノ総動員ヲ為シテ陸軍及ヒ海軍陸戦隊各一營並保安隊ノ大部分ヲ午前三時迄ニ四方ニ派遣シ一斉ニ各工場内ノ職工ヲ退去セシメ一旦之レヲ支那人職工宿舍内ニ集メテ嚴重ニ監視スヘク又罷工主謀者ハ悉ク逮捕シ之レヲ台東鎮某所ニ護送スルコトニ決定セル旨ヲ通告シ尚工場及邦人宿舍等ハ支那人軍警ヲ以テ充分保護スヘキモ原動部倉庫等工場ノ要部ニハ事情ニ通セル会社員ヲモ配置セラレタシト希望セル

処本官要求ノ趣旨ハ逐一諒解シタルモ何分事極メテ重大ナルニ付確答ヲ明朝迄待タレタシト云ヘルニ付本官ハ已ムナク之ヲ諾シタルカ尚為念本日本會談ノ際本官申入ノ趣旨ヲ公文ニ認メ督弁ニ送致シ置ケリ尚王戒嚴司令ハ濟南來電第一五号張督弁訓令ノ結果ト見エ昨夜俄ニ掃青シ今朝來督弁等ト長時間ニ亘リ擬議セル趣ナリ

公使、上海、奉天、濟南へ転電セリ

四五三 五月二十八日

在濟南吉沢総領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

青島罷業取締方ニツキ張督弁ニ申入レタル結果報告ノ件

第一九号

貴電第一四号ニ関シ

本日午後平塚ヲ派遣シ直接張督弁ニ談合ノ上御来示ノ趣ヲ申入レシメタル処督弁ハ更メテ青島王戒嚴司令並陳警察庁長ニ対シ暴動ノ鎮圧方電命ス可シトテ当方要求通りノ電文案ヲ示シタルカ当方ヨリ目下ノ狀況ヲ詳述シ本件ハ至急ヲ要スルニ付電話ヲ以テ直ニ命令セラルヘキ旨申入タルニ督

ニ付本官ハ之レヲ諾シ直ニ花里署長及館員二名ヲ四方ニ派遣シ会社側ト連絡ヲ取ラシメ又東西警察官ヲ各工場ノ要部ニ配置スルコトナシ一方ニハ樺、桜二艦ヨリ万一ノ場合ニ即時陸戦隊ヲ派遣シ得ル様手配シ置ケリ(午前二時)在支公使、上海へ転電シ濟南、奉天ニ暗送セリ

四五五 五月二十九日

在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

中国軍隊等ノ出動ニヨリ日清、大康兩社従業員ノ工場退去、内外綿ニテ死傷者出デタル旨報告ノ件

第一一一号

往電第一一〇号ニ関シ

支那軍隊及保安隊ハ二十九日午前四時前各工場ニ配置セラレ直ニ職工ヲ追出シ着手セリ日清、大康兩社ノ職工ハ格別抵抗スル事ナク退去シテ夫レ夫レ職工宿舍内ニ收容セラレ会社側ニテハ休業ノ張出^{張りだ}シヲ為シタルカ独リ内外棉ノ職工ハ全部一工場ニ立籠リ軍隊ニ於テ発砲ヲ以テ威嚇セルモ容易ニ退出セス遂ニ実彈発射ニ因リ即死一瀕死二重傷四輕

傷十名ヲ出シ又抵抗者ヲ縛リ上ケタル結果彼等モ已ムナク全部工場ヲ退出シテ宿舍ニ入レリ又内外棉ノ工場ヲ占領セシ首謀者二十四名ハ保安隊ニ検束サレ台東鎮警察署へ護送セラレタリ

尚各社トモ邦人ニ負傷等ノ事モナク又幸工場ニモ何等損害ヲ受ケサリシカ唯内外棉ニアリテハ職工ハ綿置場ニ放火シタルモ邦人ノ手ニヨリ直ニ消シ止メタリ

北京、濟南、上海、奉天へ転電セリ

四五六 五月二十九日

在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

中国軍警ニヨル三者ノ逮捕者内訳並ビニ負傷者ノ措置振リ等報告ノ件

第一一二号

往電第一一一号ニ関シ

今回ハ支那側官憲ニ於テモ固ク決心スル処アリタリト見エ予メ軍警ノ配置及行動ノ順序ヲ相当綿密ニ作成シ一方ニ於テ前電ノ如ク一斉ニ三社ノ職工ヲ工場ヨリ追出スト共ニ殆ント時ヲ同ウシテ非番職工ノ熟睡中ニ職工宿舍ノ閉鎖工会

四五七

五月二十九日

在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

中国軍警ノ青島罷工鎮庄ニヨリ邦人ノ危険ニ応去リタル模様ニツキ軍艦派遣見合セアリタ

キ件

第一一三号

四方職工ノ暴動鎮庄ニ関シ今二十九日支那側ノ執リタル措置ハ既報ノ如ク幸ヒ相当ノ効果ヲ挙げ此模様ニテハ邦人ノ生命財産ニ対スル危険モ一先ツ除去セラレタルカ如ク差向キ駆逐艦二隻ニテ万一ノ形勢逆転ノ場合ニモ左シタル懸念ナカルヘク思考セラルルニ付貴電第五三号竜田級軍艦派遣ノ事ハ暫ク御見合セ相成度シ尚右軍艦ハ或ハ既ニ来航中ナルヤモ知レサルニ付本電ノ趣旨為念駆逐艦ヨリモ無線ヲ以テ海軍側へ右通信方依頼シ置ケリ

北京へ転電セリ

四五八

五月二十九日

在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

中国側官憲ガ青島罷工鎮庄ヲ断行セシ内情ニツキ報告ノ件

事務所ノ撤去並罷工首謀者ノ逮捕ニ着手シ約二時間ニシテ其ノ目的ヲ達スルコトヲ得タリ逮捕セラレタル首謀者ハ前電ノ内外棉職工二十四名ノ外日清二十、大康職工及工会幹部併セテ二十四、合計六十八名ニ上リ皆台東鎮警察署ニ引致セラレタルカ尚右ノ外ニモ保安隊本部ニ留置セルモノアリ而シテ前記ノ処置ハ悉ク支那側軍警ノ単独ニ遂行シタル処ニシテ我警察官ハ単ニ傍ニテ監視シタルニ止マリ全然実行ニ参加シタルコトナシ但傷者ニ対シテハ邦人職工之ヲ一先会社ノ医療室ニ運搬シ一旦支那官憲ニ引渡シ先方ノ希望ニ応シ青島病院ヨリ医師看護婦ヲ招キ応急手当ノ上之ヲ青島病院ニ送レリ一方会社側ニ於テハ三社共既ニ臨時休業ノ貼出ヲナシタルカ今後ノ措置ニ付テハ何レ三社間ニ協議スルコトナル可ク又差当リ工場内ノ警備ニ付テハ我警察官及会社職員之ニ当ルモ工場外部ノ警備ハ引続キ保安隊ニ依頼スルコトトシ軍隊ハ本日既ニ引上ケツツアリ尚前電末段綿置場トアルハ塵道(落綿溜)ノコトナリ為念

在支公使、上海、濟南、奉天ニ転電シ往電第一〇八号、第一一〇号及第一一一号ト共ニ天津へ暗送セリ

第一一四号

往電第一一二号ニ関シ

支那側官憲カ昨二十八日ニ至リ俄ニ断乎タル措置ヲ決意スルニ至レル事情ヲ察スルニ其間種々ノ理由潜マルカ如シ第一過日来督弁公署ニ於テハ二回迄モ人ヲ代ヘテ職工彈压ヲ試マシメ何レモ全然失敗ニ帰シテ甚シク面目ヲ失セル折柄我方ヨリ治安維持ニ関スル強硬ナル要求ニ接シ且ツ日本ヨリノ新聞電報ハ頻々トシテ軍艦派遣ヲ報シ現ニ昨夕刻ニ至リ駆逐艦二隻来着シテ事態大ニ急迫セルニ至レルコト確ニ其一因ナルヘキモ更ニ支那官憲ノ決心ヲ促シタル有力ナル原因ハ当地官憲ニ於テ急速問題ヲ解決セサレハ必スヤ張宗昌カ奉軍ヲ当地ニ派遣シテ鎮庄セシムルニ至ルヘキヤヲ恐レタルヤニ思ハル現ニ王戒嚴司令カ張宗昌ノ訓令ヲ受ケテ十七日夜帰青シテ以来督弁公署及戒嚴司令部ハ頻ニ連合會議ヲ開キテ俄ニ緊張ノ色アリ温督弁モ昨日本官ト会見ノ際一応ハ穩便手段ヲ主張シタルモ本官ヨリ之ヲ反駁シテ急速断乎タル措置ヲ要求シタルニ対シ敢テ反駁スルコトナカリシハ或ハ内心既ニ決スル処アリ殊ニ予テ当商埠ニモ野心アル張宗昌カ普濟医院乗取リノ手ヲ以テ(郵報スミ)暴動鎮庄ニコトヨセ当地ニ勢力ヲ扶植スルニ至ランコトヲ懸念セ

ル様印象セラレタリ尚陳警察庁長ノ内話ニ依レハ昨日午後ノ會議ニ於テ即時斷行説ト延期説トアリシモ結局前説ニ歸シ又排日運動ノ誘発ヲ危ム意見モアリタリト云フ以上ノ如キ事情ニ依リ支那官憲力遂ニ自ラ彈圧手段ヲ執リ我方ニ於テ実力ノ使用ヲ避ケ得タルコトハ甚タ幸ト思考スルモ尚事態ノ真相ニ関シ万一ノ誤解ヲ避クル為今朝早速「ロイテル」通信員ヲ招キテ詳細説明ヲ与ヘ上海其他ヘ打電セシムル様取計ヒ置ケリ

北京、上海ニ転電シ濟南、奉天、天津ヘ暗送セリ

四五九 五月二十九日 在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

張督弁ニ対シ青島罷工代表者等ニ極刑ヲ科セザルヨウ申入方ノ件

第一一五号

本官發濟南宛電報第四六号

確カナル筋ヨリノ内聞ニ依ルニ張督弁ハ今二十九日逮捕シタル罷工職工代表者等ヲ濟南ニ護送方当地官憲ニ訓令シ来リタル趣ノ処右ハ濟南ニ於テ銃殺ノ刑ニ処スル為ナリトノ

噂アリ万一同督弁ニシテ斯ノ如キ暴挙ニ出テンカ却テ邦人ノ經營ニ対シ重大ナル悪影響ヲ与フルニ至ル可ク延テハ排日運動ノ一因トナルヤモ計リ難シト思考ス就テハ至急適當ノ方法ニ依リ張督弁ニ対シ青島方面ニテハ右代表者等カ極刑ヲ課セラルル噂アル処会社側ニ於テハ之等ノ不良分子カ相当期間拘禁セラレ善良職工ノ復業ニ差支ヘ無キニ至ル事ヲ以テ満足スヘク万一峻厳ナル処罰ヲ受クルカ如キ事アラハ会社經營者トシテモ從前雇庸ノ關係上惻隱ノ情ニ忍ヒサル所ナル旨ヲ告ケ斯カル措置ノ行ハルル事ナキ様御申入レ相成度シ

大臣、北京ヘ転電セリ

四六〇 五月三十一日 在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

青島罷工ノ武力彈圧ニ対スル新聞報道振りニツキ報告ノ件

第一一八号

往電第一一四号ニ関シ

支那官憲ハ今回ノ武力彈圧カ上海、濟南方面ニ意外ノ反響

ヲ及ホサンコトヲ顧慮シ直ニ電報及新聞等ノ檢閲ヲ開始シタルタメ当地ノ漢字新聞ハ単ニ事実ノ報道ヲ為シ我驅逐艦派遣力支那側強硬手段ヲ促シタルコトニ言及シ居ル外格別評論ヲ掲クルモノナシ又外人側ハ今回ノ支那側ノ処置ハ外人ノ利益保護上当然執ルヘキ途ナリト看做シ居リ只タ一部ノ支那人間ニハ其較ヤ敵ニ過キタルコトヲ評シ居ルモノアルカ如シ

北京、上海、濟南ニ転電シ天津、奉天ニ暗送セリ

四六一 五月三十一日 在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

罷工鎮圧後ノ中國從業員ノ措置方ニツキ中国側官憲ト協定ノ件

第一一九号

往電第一一二号ニ関シ

其後支那側ハ軍隊約三百名ヲ各工場外部及華工宿舍ニ配置シテ嚴重警戒シ宿舍内ニ押込メラレタル職工モ靜穩ニシテ何等異常ナシ之等職工ノ処置ニ就テハ初メ支那側ハ其全部ヲ一旦解散シ各郷里ニ送還スルノ案ヲ立テ本官ノ意見ヲ求

メタルモ斯ノ如キハ一時ニ八千ニ近キ失業者ヲ出シ一種ノ社会問題トシテ世上ノ非難ヲ招クヘキノミナラス会社トシテモ善良職工ヲ失フコトハ不利ナルニ付会社側トモ協議ノ上昨三十日午後支那官憲トノ間ニ次ノ如ク協定セリ
一、既ニ逮捕セラレタルモノノ外更ニ各社ヨリ提出スル名簿ニ依リ不良職工中危險ナルモノ約二百名ヲ逮捕スルコト
二、右ノ外会社ハ不良職工約五百名ヲ直ニ解雇シ支那官憲ノ手ニテ郷里ニ送還シ保証人ヲ立シメテ之ヲ所轄知事ニ引渡スコト(賃銀ハ二十五日夜業ノ分迄支払ヒ外ニ旅費一人三元ヲ給ス)

三、其他ノ職工ハ会社ニ於テ繼續雇用スルコト(賃銀ハ二十五日夜業迄全額其後ハ復業迄半額トス)

右追加逮捕ハ直ニ着手シ職工解雇ハ賃銀支払其他ノ準備出来次第実行セラルヘク斯テ何等ノ変事モ無ク職工ノ整理片付ク時ハ会社側ハ多分四、五日中午ニ操業ヲ開始スルコトトナルヘシ又死傷者ニ対シテハ会社ヨリ死者三名ノ遺族ニ弔慰金各一百元入院中ノ重傷者四名ニハ治療費並(脱)各五十元ノ見舞金ヲ給シ輕傷者ニモ十元宛ヲ与ヘタルカ支那側官憲モ満足シ居レリ

又二十九日未明支那官憲ハ各紗廠工会ノ解散ト同時ニ之ト密接ノ連絡アル四方機廠ノ工会ニモ解散ヲ命シ會員名簿其他ノ書類ヲ押収シタル趣ナルカ同日数人ノ代表カ同廠長ニ陳情シタル外格別動搖ノ模様無シ

尚張督弁ノ代表トシテ濟南ヨリ特派セラレタル張旅長ハ二十九日夕着青直ニ本官ヲ來訪シ不良職工ニ對シテハ支那側ニ於テ峻嚴ナル取締ヲ為スヘキニ付会社側ニ於テモ今後職工ノ待遇上充分注意スル様指導セラレタシトノ趣旨ヲ述ヘタルカ(右ハ在支公使發閣下宛電報第四三七号外交總長庇酬ノ趣旨ト符合セルヤニ思ハル)其後屢々当地官憲ト会合シテ罷工善後策ヲ協議シ居レリ

北京、上海、濟南、天津、奉天ヘ轉電セリ

四六二 六月一日 幣原外務大臣ヨリ
在濟南吉沢總領事代理宛(電報)

罷業關係者ニ對スル寛大ナル措置方訓令ノ件

第一五号 至急

青島總領事發貴官宛電報第四六号及第四七号ニ関シ同總領事ノ意見ハ至極尤ニシテ会社側意向ニモ顧ミ旁至急本電並青島電報ヲ天津ニ轉電シ天津總領事ヲシテ至急張督

一千人ヲ超ユルノミナラス支那側ニ於テ同協定ノ趣旨ニ付多少ノ誤解アリテ不良職工二百七十名ヲ宿舍ヨリ引出シ一人モ逮捕セス悉ク保安隊監視ノ下ニ同日夕刻汽車ニテ各郷里ニ送還セリ支那官憲ニ於テ今日迄逮捕シタル首謀者ハ七十一名ニ達シ其ノ内六名ハ濟南ニ護送セラレタルモ其ノ他ハ当地警察庁ニ拘禁中ナリ尚曩ニ罷工調停ノ際解雇セラレタル首謀者五十名並ニ其ノ後ノ暴動首謀者ニシテ未逮捕ノモノ鮮カラス之等ハ当分潜伏シテ他日再煽動ヲ企ツルヤモ計ラレサルニ付今後嚴重之カ取締方ニ関シ支那官憲ヲシテ各会社ノ復業ニ先チ公文ヲ以テ誓約セシムル積ナリ尚宿舍ニ残留セル職工ハ引続キ平穩ナルニ付支那側ノ警備隊モ極メテ少数ヲ殘シ其ノ他ハ今日中ニ引揚クル筈ナルカ目下ノ形勢ニテハ再ヒ惡化ノ懸念ナシト思ハルルニ付我驅逐艦二隻此際一先旅順ニ帰航セシメラル様致シ度ク同艦長ト打合濟

北京、上海ニ轉電シ濟南、天津、奉天ヘ暗送セリ

(欄外記入) 海軍省軍務局第二課員ヨリノ回答ニ依レハ驅逐艦ニ對シテハ旅順ニ帰還方六月三日朝発令セラレタル趣ナリ(中山)

弁ニ於テ右趣旨ニ依リ罷業代表者ニ對シ寛大ノ措置ヲ執ラシムル様取計フト共ニ貴官ヨリ貴地ニ於テモ省長其ノ他ノ当局ニ對シ右切實ニ申入レアリタク尚此種重大ナル事件ニ関シテハ宜シク貴官自ラ交渉ノ任ニ當ラレ第三者ヲ介シ為ニ時機ヲ失スルカ如キコトハ嚴ニ無之様十分御留意アリタシ

本電前段北京、青島ヘ轉電アリタシ

四六三 六月二日 在青島堀内總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

宿舍内拘留中ノ中国従業員ハ悉ク郷里ニ送還ノ旨並ビニ我ガ驅逐艦ノ帰航ニツキ打合濟ミ

ノ件

第一二二二号 (六月三日接受)

往電第一一九号ニ関シ

(欄外記入) 会社側ハ協定ノ趣旨ニ基キ職工中逮捕スヘキモノ及解雇スヘキモノノ名簿ヲ作り当館ヲ經由シテ支那官憲ニ交付シ置キタル処昨一日午前支那警察官ハ宿舍内職工ノ整理ニ着手セリ然ルニ二十九日以来既ニ警戒ヲ冒シテ逃亡シタル職工

四六四 六月二日 在天津岡本總領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛

上海ヨリ紡績罷業煽動者ノ來津ニ関シ報告ノ件

機密第五九号 (六月十日接受)

大正十四年六月二日

在天津

總領事代理 岡本 一策(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

紡績罷業煽動者ノ來津ニ関スル件

上海、青島ニ於ケル紡績罷業ノ当地波及ノ如何ニ付テハ当地官民ノ夙ニ憂慮シツツアル処ナルカ果然五月上旬青島ヨリ五六名ノ煽動者來津シ支那側工場ニシテ当地六工場(全部国籍支那)中ノ最大ノモノタル裕元紡績公司(大倉組ト借款關係アリ)ノ一部職工ニ對シ煽動勧誘シタル由ナレトモ之ニ応スルモノナク不結果ニ終リタル旨聞及候其不結果ノ原因ト目スヘキハ「一」南方ニ比シ当地地方ノ民度低ク彼等ノ労働運動ニ對スル理解力殆ト皆無ナルコト「二」工場主側ノ彼等ニ對スル待遇比較的厚キ方ニシテ生活ニ満足ノ

傾向アルコト「三」一旦解雇サレ失職ノ場合ハ転職上困難ヲ感スル虞アルコト等ニ存スヘクト被存モ右等煽動者ニ於テ将来豊富ナル金力ト甘言トヲ以テ労働者ニ臨ムカ如キ曉ニ於テハ如何ナル變動ヲ見シヤモ計リ難ク且ハ東拓ニ於テ依託経営ノ下ニ近ク操業ノ運ヒトナルヘキ裕大紡績側ハ特ニ憂慮ノ色アリ予メ対策ヲ講スヘク当館ニ対シ種々申出ノ次第モ有之タルヲ以テ本官ニ於テハ昨日張作霖ニ会合ノ際談偶々青島罷業ニ及ヒタルヲ以テ煽動者入津ノ事実ヲ告ケ其注意ヲ喚起致置候然ルニ本二日ニ至リ上海ノ騷擾益益悪化シ取引不能ニ陥リタル旨ノ報アリ銀行側ニ於テモ当地波及ヲ虞レ居候旁々非公式ニ李督弁並ニ熊交渉員ニモ予メ警戒方申入置候

右御参考迄及報告候 敬具

四六五 六月四日 在天津岡本総領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

上海事件ニ関スル益世報社説等報告ノ件

第七二号

上海事件ニ関シ当地支那新聞ハ概シテ大活字ヲ以テ其ノ報

道ヲ掲載スルニ止リ居ルモ六月三日益世報ハ社説ヲ以テ大要工人罪ナシ工人ヲ援助セル学生更ニ罪ナシ禍ノ基ク処誠ニ租界ノ害不平等条約ノ崇ナリヲ記述シ同日漢文「タイムス」(奉天派機関)ニ於テハ其ノ各学生ニアルヤ否ヤハ暫ク措キ是レ外人ノ我國人ヲ蔑視スル心理ノ表現ニシテ上海一隅ノ問題ニ非ス実ニ全国人ノ生死榮辱問題ナリトノ論說ヲ掲ケ其ノ対策トシテ第一全国学生商工界ヲ連合シ一致ノ行動ヲ執リ帝國主義者ニ抗スルコト第二学生被害顧末ヲ各友邦ニ通電シ是非ヲ明ニスルコト第三全国各界ヨリ代表ヲ選拔シテ北京上海ニ分駐シ当局ヲ監督シ嚴重抗議ヲ促スコトニ依リ最後ノ勝利ヲ期スヘシト為シ且路透社東方通信ノ唯学生ヲ誣ヒテ排外ト為シ暴徒ト為スヲ憤リ四日同報ハ今次外交部提出ノ抗議杜撰ヲ極ム政府既ニ頼ルヘカラス国人一致シテ中国ニ於ケル英人ノ排華運動ニ抵抗スヘシト論シ彼ノ常ニ同文同種ノ説ヲ以テ我ヲ誘フモノ白人ト交結シテ工人ヲ慘殺ストテ英人ト連ネ攻撃ノ筆鋒ヲ日本人ニ差向ケ居レリ

在支公使、上海、奉天、漢口ニ暗送セリ

四六六 六月四日 在天津岡本総領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

青島罷業主謀者処分ニ関スル我方申入レニ

対シ張宗昌回答ノ件

第七三号

(六月五日接受)

往電七〇号ニ就キ四日張宗昌ニ面会重ネテ申入レタル処当方ノ好意ヲ謝シ篤ト取調ノ上貴意ニ副フ様命スヘキ旨答ヘタリ

青島、濟南へ転電シ北京へ暗送セリ

四六七 六月四日 支那駐屯軍參謀ヨリ
金谷參謀次長宛(電報)

上海事件ニ関スル北京学生団及ビ労働団ノ演

說大要並ビニ執政政府ニ対スル要求ニツキ報

告ノ件

天電第七五号

(六月六日外務省接受)

上海事件ニ関スル北京学生団及労働団ノ示威運動ハ今ノ処穩健ニシテ暴動ノ兆ナシ彼等ノ各所ニ於ケル演說ノ大要ハ二十一ヶ条及不平等条約ノ取消日英帝國主義ヲ打破スルニ

在リテ又政府ニ左ノ要求ヲ為サントシツツアリ
一、執政政府ハ英國ニ嚴重ニ抗議シ上海英領事ヲ更迭スルコト
二、危害ヲ加ヘタル英國巡警ヲ支那ノ国刑ニ照シテ処罰スルコト
三、英國ヨリ死傷者ノ慰撫金ヲ取ルコト
四、英國政府ヲシテ支那ニ謝罪セシムルコト
五、駐支外國軍隊ヲ撤去セシムルコト
六、領事裁判權ヲ撤収スルコト

関東、上海、奉天濟ミ

四六八 六月五日 支那駐屯軍參謀ヨリ
金谷參謀次長宛(電報)

英國ガ擾乱ヲ排日ニ転換スル前二日本ガ罷業

問題ヲ解決スルコト得策ナル旨ノ楊宇霆ノ談

話ニ関スル件

付記 天津駐屯各國兵力(六月現在 陸軍省調)

天電第七七号

(六月八日外務省接受)

楊宇霆ノ学生及労働団運動ニ関スル觀察トシテ吉岡中将ニ語ル所ニ依レハ今回ノ擾乱ハ容易ニ終熄セス且全國的トナ

ルヘク其目標ハ現在ニ於テハ排英ヲ主トシアルモ英国ハ日本ヲ誘ヒ協同動作ヲ採ラシメ次テ巧ニ之ヲ排日ニ転換スヘシサレハ日本ハ罷業問題ヲ速ニ解決シ英国ヲ孤立ニ陥ラシメ其長江沿岸ノ勢力ヲ挫クヘキ好機會ナリト
関東、北京、上海、奉天スミ

(付記)

天津駐屯各国兵力

(大正十四年六月現在)

日本 三五〇
米 国 八一三
英 国 五二一
仏 国 一九三
伊 国 一二〇

(陸軍省調)

四六九 六月七日

在芝罘別府領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

上海事件ニ関スル学生運動ヲ許可セザルヨウ
米 国 領事ヨリ道尹ニ申入レタル件

第二〇号

第二一号

往電二〇号ニ関シ

(一)青年会ハ各団体ト連絡シ秩序の声援ヲ為スヘク目下協議中

(二)総商会ハ鎮守使カ過激ノ運動ニ賛成セサルト會長濱台玉田ハ鎮守使ノ命ニ是レ服スルノ状態ナルト英商和記ノ買弁タル關係上何等ノ行動ナシ

(三)各学校代表二名宛六日午後先志学校ニ於テ会合先ツ「煙台五三(五月三日)事件後援会」ヲ組織シ然ル後上海学生ヲ援助シ外国人ニ對抗センコトヲ決議セルモ具体的方法ニ付テハ之ヲ決定セス

(四)市民ニシテ外国人ニ対シ不平ヲ懷クモノ極メテ多シ

北京、濟南、青島ニ転電セリ

四七一 六月八日

在濟南吉沢総領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

濟南学生連合会ノ示威運動ニ関シ報告ノ件

第二五号

(六月九日接受)

当地学生ノ連合会ハ七日協議ノ結果数千名隊伍ヲ組ミテハ

二 中国ノ排日排英運動状況 四七一 四七二

上海学生殺害事件ニ関シ当地先志及益文中学生ハ二十余校ノ学生ト一団トナリ煙台学生連合会ヲ組織シ対外國權ノ回復、帝國主義打破、日英貨非買購ヲ標榜ノ下ニ一兩日内ニ一大示威運動ヲ行ヒ上海学生団ニ声援ヲ為スヘシトノ情報ニ接シタル処六日会々英國領事同様ノ情報ヲ齎シ本官ヲ來訪シタルニ付米 国 領事トモ協議ノ結果同日正午新道尹カ就任挨拶ノ為メ米 国 領事ヲ訪問ノ際同領事ヲシテ斯ル示威運動ハ時節柄望マシカラサルニ付許可セサル様申入レシメタルカ右ノ結果道尹ハ警察庁ヲシテ七日ヨリ取締ヲ実行セシムルコトナレリ当地商總會ハ現在ノ処冷靜ノ態度ヲ持スルモ支那商中英商トノ經濟絶交ヲ高唱スルモノアリ尚学生等万一ノ行動警戒ノ為必要ノ場合目下当地碇泊中ノ米 国 東洋艦隊ヨリ陸戰隊ヲ上陸セシムル管
在支公使、濟南、青島ニ転電セリ

四七〇 六月七日

在芝罘別府領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

上海事件ニ対スル青年会等ノ動靜ニツキ報告
ノ件

日市内ヲ遊行シ当館及英國領事館門前ニ於テハ外國貨抵制帝國主義打破ヲ叫ビ居タルモ官憲ノ取締相当行届キタル為カ格別ノ事故ナカリシカ如シ配布ノ伝單中ニハ上海事件ノ外這般青島ニ於ケル罷業政策ヲ枉ケテ記載セル点アリ

四七二 六月九日

在濟南吉沢総領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛

上海事件ニ関スル濟南方面ノ反響ニツキ報告
ノ件

機密郵電第四二号

(六月十九日接受)

大正十四年六月九日

在濟南

總領事代理 領事 吉沢 清次郎(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

上海学生騷擾事件ニ関シ当地反響報告ノ件

昨八日行ハレタル当地学生連合会示威遊行ニ付テハ概況不取敢往電第二五号ヲ以テ報告シ置キタルカ当地國民黨系新聞ハ這般ノ青島罷工鎮庄事件ニ関シ我方警官及陸戰隊モ直接鎮庄ニ参加シ又工場職員中参加職工ヲ慘殺シタルモノア

四三九

二 中国ノ排日排英運動状況 四七二

リタルカノ如ク報道シ煽動ノ筆致ヲ弄シタルモノアリタルカ上海事件勃発スルヤ各新聞トモ激越ノ論調ヲ以テ学生ニ同情ヲ表明シテ民心ヲ刺戟シ次テ北京天津等各地ニ於ケル状況モ統々報道セラルルニ及ヒ主トシテ学界ヲ中心トシテ各団体寄々協議中ナリシ処七日学生連合会ハ正式会合ヲ開キテ罷課ヲ即行シ八日示威遊行ヲ為シ日英領事ニ対シ糾弾の書翰ヲ送ルコトヲ決議シタリ之ニ対シ官憲ハ其首腦者新聞記者等ヲ招キテ外人ニ対シ軌外ノ行動ヲ慎ムヘキ旨訓示シタル趣ニテ八日朝本官カ交渉員ヲ訪問シテ在留民ノ保護ニ付充分ノ責任ヲ取ラレンコトヲ申入レタル際モ同様ノ趣旨ヲ述ヘ居タリ八日朝齊魯大学ヲ始トシテ二十六校ノ学生数千名ハ省議會ニ参集シ主催者ハ交々起チテ青島上海兩地ニ於ケル事件ノ顛末ヲ述ヘテ日英貨抵制、帝國主義打破、領事裁判權撤去、日英租界撤廢、旅大回收等ヲ呼号シテ勢ヲ煽リタル後先督軍署ニ至リテ曩ニ青島ヨリ押送シ来レル罷業首魁六名ノ釈放ヲ請求シテ要領ヲ得ス次テ省長公署ニ至リテ罷市ヲ迫リタルモ省長ハ商務總會ニ諮ルニ非レハ罷市ヲ為スヲ得サルヲ論シタルヲ以テ行列ハ商埠地ニ向ヒ英國領事館前、亜細亞石油会社支社前等ニ於テ氣勢ヲ挙ケタ

四七三

六月十日

在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

青島ニ於ケル上海支援ノ伝單撒布並ビ二街頭

演説ニツキ報告ノ件

第一二七号

当地ニハ四方紡績罷工ノ問題モアル折柄上海暴(動)事件ノ波及センコトヲ顧慮シ過日来当館ニ於テ支那側官憲ト連絡シ嚴重警戒中ノ処去ル七日ヨリ各種ノ伝單ヲ電柱等ニ貼付スルモノアリ支那警察ニ於テハ一々之ヲ剝取り居リシモ八日ニ至リ支那電報局員(南方人多シ)ラシキモノ一、上海ヲ援助シテ禍首ヲ懲罰ス二、日英貨ヲ抵制シテ經濟絶交ヲ実行ス三、國民會議ヲ速開ス四、弱小民族ヲ連合シ帝國主義ヲ打破シ不平等條約ヲ取消シ租界ヲ回收ス云々ト記載セル伝單ヲ市中ニ撒布シ且ツ上海新報ヲ電報局門前其他ニ揭示セルカ九日ニハ路上演説ヲ為シタルモノアリ尚市民公會ハ既ニ北京政府ニ対シ嚴重交渉方ヲ電請シ又各學校職員及学生等モ夫々滬案講演會ヲ組織シ講演ノ電報ヲ各(地)ニ発シタル上伝單ノ撒布路上講演等ニ関シ官憲ノ了解ヲ求メツツアル趣ナリ(學校中既ニ休業シタルモノアリ)支那官憲トシテハ事變ノ發生ヲ防止スルカ為或程度迄ノ運動ヲ

四四〇

ルモ別段ノ事故ヲ見ス漸次当館方面ニ向ヘリ本官ハ万一ノ場合ヲ慮リテ前頭ノ通交渉員ニ申入レタル外別ニ当館警察署長ヨリ所轄支那側警察署ニ予メ警戒方要求セシメ置キタル処支那側ハ巡警数名ヲ付近街路ニ派遣取締タルヲ以テ是亦單ニ門外ニ於テ抵制日貨、回收旅大等ヲ絶叫シ代表ト称スルモノ学生連合会ノ名ヲ以テセル声明書ヲ門衛ニ交付シタルノミニテ通過シ次テ商埠商總會ニ赴キ全般的罷市ヲ要求シタル後解散セリ學業ヲ放擲セル学生ハ今日モ數団トナリテ市街ヲ遊行シ尚兩三日繼續スルカ如キ模様ナルモ漸次氣勢衰フルモノト觀察セラル

今回ノ示威運動ハ對外的ニハ日英兩國ニ向ケラレ居ル次第ナルカ張督弁ハ就任以來兵舍用トシテ法政專門、第一中學、第一師範等ノ諸校舍ノ明渡ヲ要求シ学生等ハ之ニ対シ憤懣ノ情ヲ抱キ居タル際会々今回ノ事件起リタルヲ以テ配布伝單中ニハ軍政兩當局カ外國帝國主義ノ走狗トナレルコトヲ攻撃シタルモノヲ散見セリ

本信写送付先 在支公使、在天津、上海、青島、奉天、漢口各總領事、在南京、芝罘各領事

許スモ大体ニ於テ拘束主義ヲ執リツツアル模様ナリ北京、上海へ転電セリ、濟南、天津、奉天、漢口、福州へ暗送セリ

四七四

六月十一日

在濟南吉沢總領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

濟南官憲ノ示威運動取締振り報告ノ件

第二六号

(六月十二日接受)

往電第二五号ニ関シ

其後学生ハ各校別ニ市中ヲ遊行シ居ルモ別段暴行ヲ為サス唯途上本邦人ヲ乗セタル車夫ニ迫害ヲ加フルモノアルヲ以テ迷惑渺カラス小学校生徒ニシテ通學途上妨碍ヲ受ケタルモノアリテ學校当事者ヨリ要求アリタルニ依リ十一日ヨリ一時休校スルコトトセリ十日在天津張督弁ヨリ省官憲ニ対シ輕拳ヲ慎ムヘキ旨ノ電報アリテヨリ取締嚴重トナリ十一日開催ノ市民大会ハ王參謀長ヨリ禁止セラレタルモ(一)示威遊行ヲ為サス(二)青島事件ニ言及セサルコトヲ条件トシテ漸ク許可ヲ得テ開催シ會衆一万余ニ及ヒタルカ主トシテ学生ニシテ一般市民ノ参加セルモノ渺ク無事終了セリ但シ上海ヨリ入込メル宣伝員ハ盛ニ活躍シツツアルカ如シ

四七五 六月十二日 在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

四方三社ノ操業開始見込ニツキ報告ノ件

第一二九号

(六月十三日接受)

往電第一二四号ニ関シ

其ノ後四方ノ各宿舍ニ残留セル職工ハ依然平穩ニシテ復業希望ノ模様アルノミナラス当地学生ノ示威運動モ既報ノ如ク格別彼等ニ影響ヲ及ホスコト無カリシヲ以テ会社側ニ於テハ支那官憲ノ意向ヲモ確カメタル上復業ノ準備ニ取掛ルコトトナレリ依テ当館ヨリハ為念八日付公文ヲ督弁公署ニ送り罷工首謀者中逮捕ヲ免レ居ルモノ並ニ送還職工中再ヒ復帰セルモノアル事実ヲ指摘シテ今後ノ嚴重取締リ方ヲ要求シ置キタルカ一方会社側ニ於テハ九日告示ヲ以テ復業希望者ノ申出ヲ促シタル処多少就業反対ノ宣伝ヲナスモノアリタルニ拘ラス十日以後三日間ニ新ニ契約書(職工側ニ於テ会社ノ規則ヲ嚴守スルコト並ニ支那官庁又ハ会社ノ公認セサル結社ニ加入セサルコトヲ誓約スルト同時ニ会社側ニ於テ之ヲ優待スル形トナリ居レリ)ニ署名シタルモノ各社トモ在職工數ノ約半数ニ達シタルニ依リ(大康約千九

(三)十三日濟南ヨリ来レル女学生風ノモノ電話交換手ニ罷業ヲ勸告シツツアル趣ナルモ未タ異常ナシ

当地学生等ハ青島取引所支那重役ニ取引停止ヲ強要セルモ拒絶セラレタル趣ナリ

(四)支那側漢字新聞論調ハ大体ニ於テ攻撃ノ焦点ヲ英國ニ転換セント努メツツアルモノノ如シ右ハ支那官憲ノ指示ニ依ル結果ナリト思考セラル

北京ニ転電シ郵送前電ニ同シ

四七七 六月十五日 在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

中国官憲警戒ノモト各社操業開始ノ模様報告

ノ件

第一三四号

(六月十六日接受)

往電第一三一号ニ関シ

十三日ハ会社トモ平穩ニ操業シ十四日ハ日曜ニ拘ラス大康及日清兩社操業ヲ続ケタルカ(内外ノミ休業)各社トモ出勤職工ノ數追々増加シ操業率ハ今十五日ニ至リ約八割トナリ又大康ニアリテハ十三日以来引続キ夜業ヲモ為シ居レリ

百、内外約千四百、日清四百三十余)三社共愈々明十三日朝ヨリ操業ヲ開始スル筈ナリ

北京、上海へ転電セリ奉天、天津、濟南へ暗送セリ

四七六 六月十五日 在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

青島其ノ後ノ学生、紡績労働者ノ示威運動情

況報告ノ件

第一三二号

(六月十六日接受)

往電第一二八号ニ関シ

其後ノ状況左ノ如シ

(一)十三、四ノ兩日当地学生ハ三、四人宛一組トナリ數ヶ所ニ於テ上海事件ニ関スル街上演説ヲ為シタルカ格別反響ナシ

(二)十四日鉄路局四方機廠ノ職工九百人ハ日曜ノ休業ヲ利用シ港政局職工約二百人四方紡績解雇職工四、五十人ト共ニ青島ニ来リ支那官憲ノ嚴重警戒ニ示威遊行ヲ為シ日英帝國主義ヲ打倒セナト記載セル伝單ヲ撒布セルモ本邦(人)トノ間ニ何等事故ヲ生セス

尤モ支那側ニ於テハ四方付近ニ潜伏シ居ル不良ノ徒カ通勤者ヲ妨害スルコトヲ防止センカ為メ今尚保安隊及巡警ヲ配置シテ嚴重警戒シ居ル次第ナルヲ以テ若シ此等全部引上ケノ後果シテ職工ノ出勤ニ妨ケナキヲ得ルヤハ未タ予断ヲ許サス

転電郵送前電通

四七八 六月十五日 在芝罘別府領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

対日感情ハ漸次好転、対英感情ハ悪化スルト

ノ観測報告ノ件

第二三号

十四日当地総商会ニ於テ総商会、商業連合会(救国家団)、教育会、教職員連合会、学生会、律師公会、新聞記者連関者各代表八十余名參集煙台市民治安後援会ヲ組織シ(総務、交際、經濟、宣伝、調査ノ五部ヲ設ク)来ル十七日福建會館ニ於テ上海事件被害者哀悼ノ市民大会開催ヲ決議セリ英日經濟絶交及外人被傭者解雇ニ関シテハ暫ク考慮スルコトトナリタリ本會仮議長倪頤庭ハ排日ヲ中止シテ排英ヲ提唱シタルニ対シ少數有識者賛成セリ總商会、商業連合会

二 中国ノ排日排英運動状況 四七九 四八〇

等ハ対英日經濟絶交ノ不利ヲ自覺シテ学生会ノ圧迫ニ応セ
ス十七日ノ市民大会ハ示威游行ニ変スルモノト察セラルル
モ北京、上海、漢口方面ノ事情變化ナキ限りハ対日感情ハ
漸次良好ニ赴キ対英感情ハ益々悪化スルモノト観測セラル
公使ニ転電シ濟南、青島ニ暗送セリ

四七九 六月十七日 在芝罘別府領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

上海事件ニ関スル示威運動ニツキ報告ノ件

第二四号

往電第二三三号ニ関シ

十七日午後二時福建会馆ニ上海事件被害者追悼市民大会開
催各界代表演説ノ要旨ハ英日被備者解雇、英日經濟絶交並
右兩主張ヲ最後迄固持スルコト等ニシテ午後四時頃ヨリ学
生労働者商人等五十四団体約三千余各自「誓為滬案後盾」
ト書キタル小旗ヲ持チ例ニ依リ英日慘殺同胞、実行經濟絶
交云々ノ語ヲ高唱シツツ市中ヲ練リ歩キ午後六時半解散ス
此日官憲ノ措置善カリシヲ為秩序整然何等事故ナク殊ニ今回
ハ日英領事館前ノ游行ヲ避ケタリ
在支公使ニ転電シ濟南、青島ニ暗送セリ

四八一 六月二十二日

幣原外務大臣ヨリ
在濟南吉沢総領事代理宛(電報)

濟南ノ学生示威運動ニ乗ジタル奉天兵ノ邦人

暴行事件ニツキ回電アリタキ件

第一七号

二十日青島發東方電ニ依レハ水田忠俊ナル者奉天兵ノ為重
傷ヲ負ヒタル趣ナルカ右事実ナリヤ回電アリタシ

四八二 六月二十二日

在濟南吉沢総領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

濟南ノ学生示威運動ニ乗ジ生ジタル奉天兵ノ

邦人暴行事件ニツキ回電ノ件

第二八号

(六月二十三日接受)

貴電第一七号ニ関シ

十九日消防夫水田忠俊ノ家屋内ヲ窺フ兵卒アリタルヲ以テ
誰何シタルニ該兵ハ水田ノ外出ヲ待受ケ銃剣ヲ以テ背部ニ
斬付ケ更ニ右腕ニ刺傷ヲ負ハシメテ逃走セリ背部ノ傷ハ着
衣ノ上ヨリナルヲ以テ皮膚ヲ破ルニ至ラス右腕ノ傷ハ深サ
骨膜ニ達シ全治迄三週間ノ見込ナルモ重傷ト称スル程ニア

四八〇 六月十七日

在濟南吉沢総領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

濟南学生ノ示威運動ガ邦人商店並ビ建築工
場雇用中国人ノ脅迫ニ及ビタル件

第二七号

(六月十八日接受)

往電第二六号ニ関シ

学生ノ運動ハ方向ヲ転シテ本邦人商店或ハ本邦人關係建築
工場ニ使用ノ支那人ヲ脅迫シテ食糧飲料水ヲ供給スルモノ
ヲ妨害シ市場ニ於テ魚菜ノ買入ニ困難ヲ感スルニ至リ一方
各家庭使用ノ「ボーイ」等ヲモ頻ニ勧誘脅迫シ居レルモ此
ノ方面ハ余リ効果ナキカ如シ又市中所在ノ奉天兵中学生ノ
煽動ニ乗シテ本邦人ニ暴行ヲ加ヘタル事例数件アリテ在留
民ハ不安ヲ感シ激昂ノ徵見ユルニ至リタルヲ以テ本官ハ交
渉員ニ対シ実例ヲ一々列挙シテ取締リヲ要求スルト同時ニ
民団首腦者ヲ通シ在留民ニ平靜ヲ保ツヘキ様説示シ置キタ
ル所十五日省長參謀長以下關係各部長官ノ會議開カレ其ノ
結果軍警ノ巡邏ヲ増シテ十六日朝ヨリ警戒ヲ嚴重ニスルコ
トトナリタル旨交渉員ヨリ通告アリ其ノ結果カ昨今ハ幾分
靜穩トナリタル模様ナルモ尚引続キ支那側取締リ振注視中
ナリ

ラス他方憲兵隊ニ通知スルト共ニ本官ハ交渉員並王督弁代
理ニ嚴重交渉(脱)目下軍憲ニ於テ犯人捜査中ナリ本件ハ
今回学生ト直接關係アリトハ認メラレサルモ往電第二七号
所報ノ通之ニ刺戟セラレテ奉天兵ノ暴行事件頻發スルヲ以
テ一括抗議文ヲ送致セリ

四八三 六月二十三日

在濟南吉沢総領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

濟南学生ノ邦人經營工場ノ中国従業員圧迫等

ニ対スル取締方ニツキ省長ニ申入レノ件

第二九号

(六月二十四日接受)

往電第二七号所報後取締リ振注視中ノ処一般ノ事態改善ヲ
見ス殊ニ(一)本邦人經營祥陽燐寸会社ハ職工ニ対スル学生ノ
圧迫ニ依リ十七日ヨリ休業ノ已ムナキニ至リ(二)学生ハ十九
日本邦人集団居住スル地区ニ来リテ使用支那人ノ罷業ヲ強
要シ(三)軍人ノ態度改マラス遂ニ往電第二八号ノ如キ事件ヲ
惹起シタルヲ以テ本官ハ不取敢二十日陸軍及軍警兩方面ノ
取締リ勵行ヲ要求シタルニ爾後支那側警戒嚴重トナリ又学
生モ帰郷スルモノ多ク旁昨今ハ平穩ニシテ給水食糧買入レ

モ幾分容易トナレリ

尚二十二日省長ニ会見參謀長警察署長交渉員等同席篤ト在留民不安ノ狀況ヲ説明シタルニ十分ノ保護ヲ約シ又參謀長ハ軍人ノ暴行ニ対シテ陳謝ノ意ヲ表スルト共ニ將來ノ取締リヲ言明セリ

北京へ転電シ青島、上海、天津、芝罘へ暗送セリ

四八四 六月三十日

小泉支那駐屯軍司令官ヨリ
金谷參謀次長宛(電報)

段祺瑞ガ学生ノ暴動ト過激派ノ煽動ノ嚴重取

締リヲ指示シタル件

天電第八八号

(七月二日外務省接受)

一、三十日ニ於ケル天津排日英学生職工運動ハ約三、四千人(?)ニシテ気配挙ラス罷市三分通ナルモ行列ノ通過ト共ニ直ニ店ヲ開ク有様ナリ支那軍警ノ取締嚴重ナル為行列ハ外国租界ニ這入ルノ考ヲ放棄シアリ

二、張作霖ハ山東、安徽、江蘇ノ旧直隸派軍隊カ救国軍ノ名ノ下ニ国民軍ト連絡シ排外的色彩ヲ帯ヒ来ラントスルニ対シ義和団ノ二ノ舞ナリトテ張宗昌、姜登選ニ嚴重ナ

公会文牘)ハ日本品ノ抵制ヲ取罷メ商人ノ苦痛ヲ輕減シ專ラ英國ニ対スレハ外交上最モ勝利ヲ制シ易カルヘキ旨發議セルモ當時賛否相半ハシ結局暫ク抵制ヲ続行シ今後ノ日本ノ態度如何ニ依リ更ニ行動ヲ決定スルコトナレルカ英國ト關係アル一部商人及少数ノ学生中ニハ倪ノ説ニ反対シ英、日並行ヲ唱ヘ目下頻リニ運動中ナリ

又煙台新聞記者連歡社ハ五日滬案ニ対スル操觚界ノ態度ニ関シ討議ヲナシタルカ席上愛國報經理褚宗周ハ日本ニ対シ好感ヲ表示センコトヲ發起セルモ時期尚早トノ説多ク結局上海内外棉花ノ支那人職工殺傷事件ノ円満ナル解決ヲ俟チ日支ノ貿易回復ヲ提唱シ親善ニ尽力スヘキ旨打合セリ

尚漢口事件及広東事件發生以來当地支那市民ノ反英熱益々濃厚ヲ加ヘ本月二日ノ愛國報並鐘聲報ハ「敵手ヲ減シ单独英ニ対セヨ」ト絶唱シ又当地平民学校卒業大会ニ參列ノ為來煙セル上海支那青年会幹事傅若愚亦四日夜支那青年会ニ於ケル演說中ニ「今次ハ宜シク英國ノミニ対シ日本ヲ除外スヘシ範圍ノ縮少ハ自ラ好結果ヲ得ン」ト述ヘ居ル等当地一般ノ対日感情漸次緩和ノ傾向アリ

右報告ス

ル取締ヲ要求セリ(信スヘキ諜報)

三、段祺瑞ハ二十八日密電ヲ各省軍民長官ニ寄セ国歩艱難ノ際内争ヲ止メ挙国一致シテ某国ニ対スヘキモ学生ノ暴動ト過激派ノ煽動トハ国家ヲ危殆ニ陥ラシムルノ虞アル故嚴重ニ取締ルヘク若シ長官ノ処置宜シキヲ得サレハ処分スヘシト云ヘリ(督弁署消息)

関東、北京、坂西、上海、奉天済ミ

四八五 七月九日

在芝罘別府領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛

市民ノ対日感情漸次緩和ノ傾向アル旨報告ノ

件

公第二一五号

(七月十八日接受)

大正十四年七月九日

在芝罘領事代理 副領事 別府 熊吉(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

支那市民ノ対日感情ニ関シ報告ノ件

当地煙台市民滬案後援会ハ本月四日各部主任連席會議ヲ開キ各種ノ議案ヲ協議セルカ其際総務部副主任倪頤庭(絲業

本信写送付先 在支公使、濟南、青島

四八六 七月十四日

在天津有田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

天津ニ於ケル上海事件声援狀況ニ関シ報告ノ

件

機密第七五号

(七月二十八日接受)

大正十四年七月十四日

在天津

総領事 有田 八郎(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

天津ニ於ケル上海事件声援狀況報告

当地ニ於ケル上海事件ニ対スル民衆運動ハ六月三日天津国民會議促成会(善後會議ヨリ産出スヘキ国民會議ヲ排シ真正国民會議ノ実現ヲ期スル宣伝機關ニシテ天津国民党領袖江著元等之ヲ統率ス)ノ發シタル左記伝單ヲ以テ発端ト為ス

啓者、上海日本紗廠槍斃工人、及英捕慘殺上海学生、演中国国民運動史上空前未有之慘劇、帝國主義者之凶愎一變、

其向日仮和平侵略手段而、実行武力之摧残与压迫、述其本来面目、貽我国四万万民衆以奇恥大辱、凡能国人能不痛恨、玆訂於今日（六月三日）下午八時、假東南角県教育会、開特別臨時會議、籌商進行弁法、事關重要、千万蒞臨、是為至盼

天津国民會議促成会 啓

右ニ依リ参集セル者各種団体代表三十余名王南復（高等工業学校教員）ヲ主席ニ推シ安幸生（国民党員）ノ提議ニテ一、上海英領事ノ交迭

二、主犯ヲ支那ノ法律ニ拠リ処断スルコト
三、日英兩國政府ヨリ再ヒ如此暴行ナキヲ保証セシムルコト

四、捕ハレタル学生ノ釈放

五、死亡者負傷者ニ対スル賠償

六、租界及領事裁判權ノ回收

七、不平等条約ノ撤廃

八、外国兵及警察官ノ撤退

ニ付嚴重交渉方段執政ニ電報スルコト並ニ負傷者ヲ慰問スルコトヲ議決シ散会シタルカ学生団ハ翌四日午後五時緊急

會議ヲ開キ各学校代表百二十余名参集左記各項ヲ決議セリ

一、五日、六日兩日罷課

二、五日午後一時南開運動場ニ集合シ講演後大規模ノ遊行

ヲナス

三、委員ヲ設ケ張作霖及督弁省長ニ嚴重交渉方ヲ請願ス

四、市民ノ覚醒運動ヲナス

五、講演隊ノ組織

六、商戸ニ白旗ヲ掲ケシム

七、不買日英貨提

八、上海ニ人ヲ派シ真相ヲ調査ス

九、日英紙幣ヲ使用セス

十、外交部ニ打電シテ嚴重交渉ヲ促ス

十一、死亡負傷者ニ対スル救恤金ヲ募集ス

右ノ如キ決議ヲ為シタレトモ五日ノ遊行（往電第七四号報告）ハ氣勢揚ラス次テ十四日ノ市民大会（往電第八一号）三十日ノ追悼大会（往電第八六号）共ニ竜頭蛇尾ニ了リ其後ノ情況ヲ視察スルニ新学書院（Tientsin Anglo-Chinese College）学生総退学シ新校創設等唱ヘ居ル外市中漸

次静穩ノ状ニシテ僅カニ新聞紙上ニ日英商標等ノ調査ヲ掲

ケ捐金報告ヲ載セ各地風潮ノ通信ヲ誇張登載スルノミナリ又今次ノ事件ニ対シ從來当地ノ排日中堅タル天津団体代表会ニテハ上海ノ罷市罷工ハ意義アルモ当地ニ於テ之ヲ為ス

ハ自殺ノ愚ニ類スト為シ英國国会ニ打電シテ事件ノ真相ヲ訴フルニ止メ商務会ニ於テモ初メヨリ態度冷靜ニシテ十七日学生団ヨリ尚一層ノ努力ヲ要望セルニ対シ今日ハ危急ノ

場合ナルモ此際罷市罷工ヲ行フ如キハ昨年来水災ニ次ク兵災ノ為メ市民ノ疲弊其極ニ達シ実ニ見ルニ忍ヒサルモノアリ素ヨリ国論喚起ノ運動ハ必要ナルヘキモ熱誠ノ余国家ノ

外交ヲ誤ラシムルハ其途ニアラス今ヤ執政府ニ於テ極力諸士ノ期待ニ背カサラムコトニ努力サレツツアルヲ以テ最モ慎重ノ考慮ヲ要スヘク又義捐金募集ノ如キモ任意的寄贈ニ

俟ツ外ナキ旨ヲ以テ応答シタリト云フ更ニ教育庁ニテハ六月十八日ヲ以テ中等以上ノ学校ニテ停課シ居ルモノニ対シ

一律夏期休暇ノ布告ヲナシ学生教職員全部ヲ帰郷セシメ校内ニ逗留スルヲ禁シタル為メ其後一日運動範圍ヲ縮小シ路上講演ハ勿論伝单散布モ殆ト見受ケサル状態ニテ只一部ノ者募捐ヲナスモノアリ又間々小学校生徒ノ伝单ヲ散布ス

ルヲ見受クルノミニテ極メテ静穩ニ帰シタリ

当地運動ノ中心ハ初メヨリ国民党員江著元一派ニシテ帝國主義打倒、不平等条約撤廃、租界回收等ノ標語ハ五七記念當時ヨリ掲クル所ニシテ（往電第五三号）学生等ハ兎モ角

少クモ江著元等ノ関スル限り事件ヲ対内的ニ利用セントシタルモノト察セラル支那側ノ取締ハ既報（往電第七五号）ノ如ク滯津中ナル張作霖ノ方針一定シ李督弁ノ警戒嚴密ニ

シテ真率ニ地方公安ノ維持ヲ期スルモノト看取セラレタルニ付当館ニ於テハ当初ヨリ居留民ニ対シテハ冷靜ノ態度ヲ

持スヘキコトヲ慫慂シ支那側ニ対シテハ五月末罷工煽動者入市ノ聞込アリタル當時交渉員ヲ通シ李督弁ニ予メ警戒方

申入レ統テ督弁省長等ニ機会アル毎ニ口頭注意ヲ喚起シ六月二十五日再ヒ学生省民ノ大遊行行ハルルヤノ新聞報道アリタル際ニハ交渉員ニ対シ書面ヲ以テ遊行団ヲシテ我租界

内ニ立入ラシメサル様申入レタリ又前後三回ノ遊行ニ対シテハ万一ノ變ニ応スル準備ヲ整フルト同時ニ表面上ハ単ニ交通整理ノ為メ支那街トノ境界ニ巡查巡捕ヲ増派セル外一切支那側ノ嚴重取締ニ信頼スル態度ヲ表シ無事経過シタリ尚六月十四日遊行ノ際交渉員ヨリ英租界ノ事例ニ倣ヒ奉軍

憲兵ノ租界派遣方申出アリタルモ支那側取締ニ信賴スルノ故ヲ以テ態ヨク拒絶シタル次第ハ既報ノ通りナリ最近天津各界連合会ノ名ヲ以テ段執政ニ宛テ左ノ如ク電致シタル趣ナルモ之亦国民党一派ノ主動ニ係リ現政府ニ難キヲ責ムル虚声ニ外ナラスト認メラル

段執政鈞鑒、慘案疊生、普天同憤、広州政府、為人民利益奮闘十余人、尤為帝國主義者所嫉視、丁玆危局、務希權衡輕重、与広州政府一致對外、対日対英、絶交宣戰、必達廢除不平等条約之目的及止、臨電迫功、伏惟亮察、天津各界連合会二百余団体四十万人、同叩

写送付先 在支那公使、上海、青島、漢口、濟南各総領事

四八七 七月二十三日

在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

四方三社ノ従業員復職問題ヲ動機ニ形勢急ニ惡化ノ件

別電

同日在青島堀内総領事發幣原外務大臣宛電報第一五九号ノ二

大康紗廠従業員ノ同廠ニ対スル要求事項

昼食後職工中五百名退場シテ宿舍ニ入レリ(殘留者約一千三百ハ作業中)(三)日清紡ニ在リテハ未タ異状ナシ当館ニ於テハ会社ノ依頼ニ依リ直ニ支那警察庁ニ罷業防止方ヲ交渉シタル結果台東鎮署長及青島市民公会幹部等各宿舍ニ至リ説得中ナルモ未タ効果見エス尚滄口ニ於テモ過日来各社ノ職工中一部ノモノ窃カニ会合シテ連合工会組織ノ運動中ナルニ付警戒中

在支公使、上海へ転電シ奉天、天津、濟南ニ暗送セリ

(別電)

大康紗廠従業員ノ同廠ニ対スル要求事項

第一五九号ノ二

- 一、工会ヲ承認シ代表機關トナスコト
- 二、死傷者家族撫恤ノ為死者各三万元重傷者各一万元輕傷者各五千元支給ノコト
- 三、一切失業者ノ復職
- 四、工賃ハ日給二割請負二割半宛増給ノコト
- 五、先般罷工ノ際承諾シタル条件ノ実行
- 六、公休日ノ工賃ハ常ノ如ク支払フコト
- 七、罷工中ノ工賃ヲ支払フコト

第一五九号ノ一

(七月二十四日接受)

四方ノ三紡績会社ハ六月十三日復業後一週間位ニシテ操業率常態ニ復シ爾來職工間ニ怠業ノ模様モナク又上海事件ノ影響モナク平穩ニ經過シ來レルカ一面曩ニ逮捕セラレタル罷工主謀者モ追々釈放セラレ中ニハ再び四方付近ニ舞戻リテ又々窃カニ職工煽動乃至工会復活ニ奔走スルモノアリタルヲ以テ当館ニ於テモ終始警戒ヲ怠ラサリシ所(支那側モ復業後引續キ約三十名宛ノ保安隊ヲ配備シ居レリ)過日来三社共格別当館トノ相談モナク度々職工ヲ解雇シタルタメ多少職工ノ感情ヲ害シタルカ如ク形勢急ニ惡化シ來レリ(一)大康紗廠ニ在リテハ職工復職問題ニテ交渉纏マラス遂ニ今二十三日午前一時頃約五百名ノ職工作業ヲ中止シテ宿舍ニ引上ケ其他ハ操業ヲ続ケタルカ六時ノ交代ニハ宿舍職工約八百ハ出勤シタルモ通勤者ハ殆ト全部阻止セラレ退場シタル職工ノ一団ハ解職職工約三百名ヲ加ヘ今尚宿舍内ニ立籠リ大康工人全体ナル署名ノ下ニ別電二ノ要求条件ヲ会社ニ郵送シ罷業ノ計画中(二)内外棉ニ在リテハ七月二十三日午前十一時一職工ハ大康ニ対スルモノト同文ノ要求条件ヲ会社ニ持参シ(提出者ノ署名ナク四時間内ニ回答ヲ求メアリ)

八、職工代表及職工ヲ解雇セサルコト

九、宿舍費ヲ一切免除スルコト

十、右条件承認ノ場合ニハ会社ノ代表者工会及証人ニ於テ署名調印スルコト

在支公使、上海へ転電シ奉天、天津、濟南ニ暗送セリ

四八八 七月二十四日

在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

大康、内外棉、日清紡三社ノ罷工者ニヨル出

勤妨害ニ関シ報告ノ件

第一六〇号

(七月二十五日接受)

往電一五九号ニ関シ

二十三日午後市民公会幹部ハ罷工職工代表者ニ対シ要求条件回答期限ヲ一週間ニ延期スル様説得シタルモ成功セス大康及内外棉ノ罷工者ハ演説会ヲ開キテ他ノ職工ノ煽動ニ努メ又糾察隊ノ解散ヲ命シ又職工ノ出勤ヲ阻止セサル様説諭シタルニ不拘午後六時ノ交代ニハ日清紡ハ大部分出勤シタルモ大康及内外棉ノ職工ハ罷工者ノ為メ阻止セラレ大康ハ構内ノ職工五十八名ノミニテ機械ノ一部ヲ運轉シ内外棉ハ

約三百ノ出勤者ノミナレハ運動ヲ休止シ又日清紡ニアリテハ午後八時ニ至リ約百二十名退場セリ斯ノ如ク二十三日ノ夜勤ハ三社トモ罷業狀態ニ陥リタルカ昨夜警察厅长ヨリ出勤阻止者ノ嚴重取締方ヲ發令シタル趣ニテ其ノ為カ今二十四日朝ニハ内外棉及日清紡ハ常ノ如ク出勤職工ハ約三分ノ一ノ出勤アリ三社トモ操業ヲナシ居レリ今回ハ各社ノ把頭連ハ罷業ヲ喜ハサル風アルニ付支那官憲ニ於テ解雇職工ノ取締ヲ嚴ニシ又会社側ニテモ職工復職問題ヲ解決セハ或ハ罷工ノ繼續ヲ防止シ得ヘキカト思ハル尚滄口ハ各社トモ無事 在支公使、上海へ転電シ奉天、天津、濟南へ暗送セリ

四八九 七月二十七日 在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

張督弁等ノ罷工取締リ嚴重ナルタメ四方各社
ハ平穩ニ操業シ排外団体ハ恐慌ヲ来シヨル旨
報告ノ件

第一六五号

往電第一六四号張督弁ト会見ノ際談罷工問題ニ及ヒ本官ヨリ過般張ノ執リタル鎮圧措置ニ対シ謝意ヲ表シタル処張ハ

四九〇 七月二十七日 在濟南吉沢総領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛

濟南ニ於ケル排外運動情況ニツキ報告ノ件

公第一九八号

(八月七日接受)

大正十四年七月二十七日

在濟南

総領事代理 領事 吉沢 清次郎(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

当地ニ於ケル排外運動狀況報告ノ件

本件ニ関シ本月三日付機密第四九号ヲ以テ報告後ノ狀況左記ノ通報告ス

記

一、対日英經濟絶交ノ決議

山東各界滬案後援会ハ客月三十日対日英經濟絶交ヲ決議シ七月二日付公第一八二号ノ通規約ヲ定メ同月三日ヨリ実行スルコトトシ尚学生連合会ニ於テモ各商店ニ対シ其取扱品ニ付種類、品名、商標、出品廠名、国籍ヲ二十五日迄ニ報告スヘキ旨新聞廣告ヲナシ居リタルカ其実状ヲ見ルニ日本品ニ付テハ商標ヲ貼換ヘ米國品トシテ販売シ居ル向モアリ

二 中国ノ排日排英運動狀況 四九〇

支那ニ於ケル赤化運動ノ危険ナルヲ力説シ当地ノ紡績罷工モ主トシテ外来者ノ煽動ニ基クモノナルヘク之カ取締リニハ別ニ策アルヘント語レルニ付本官ハ張ノ来青以来煽動者ハ潜伏シ居ル模様ナルモ出發後ハ再ヒ蠢動ヲ始ムヘント思ハルルニ付今後共嚴重取締ラレタシト依頼シ置ケリ趙祺ノ談ニ依ルニ張督弁ハ来青後戒嚴司令及警察厅长等ニ危険分子ノ取締リヲ嚴命シタル趣ニテ其ノ結果ニヤ警察厅长ハ二十六日(青島?)民報(国民党系ニシテ罷工及排(外)運動ニ付屢々煽動的記事ヲ掲ケタルモノ)ノ胡主筆ヲ逮捕シ且ツ同社ノ閉鎖ヲ命シ又同日四方鐵路機廠ノ職工三名ハ工会ノ復活ヲ企テ且ツ滬案義捐金ヲ強要セリトノ廉ヲ以テ之ヲ逮捕シ何レモ軍法処ニ引渡シタル趣ナルカ多分極刑ニ処セラハセント云フ以上ノ嚴重ナル措置ハ各方面ニ反響アリタルカ如ク今二十七日ニハ四方各社トモ全ク出勤妨害ナク平穩ニ操業シ居リ又排外運動団体モ大ニ恐慌ヲ来シ居レリ

北京、上海へ転電シ濟南、天津、奉天へ暗送セリ

到底実施ニ到ラサルヘキモ英米烟草ハ已ニ其影響ヲ蒙リ売行減退セル趣ナルカ之ニ反シ当地ニ於ケル支那人經營ノ紡績工場タル魯豐紗廠ハ今次運動ノ為事業好転シ更ニ第二工場ヲ設置スヘントノ噂アリ

二、学生軍ノ組織

学生軍ノ組織ニ付テハ北京、上海等ニ於テモ此種運動行ハレ居ル趣ナル処当地学生連合会ハ本月二日学生軍組織ヲ決議シ市民雪恥会亦義勇隊ノ組織ヲ發起シタルカ十日学生連合会ハ具体案ヲ作成シ加入者ノ申込ヲ開始シ督弁公署ニ対シテ武器ノ發給並ニ教官ノ派遣ヲ請願シタルモ体ヨク拒絕セラレタル趣ナリ

三、濟南日報排斥

学生連合会ハ十一日濟南日報(邦人立石登ノ經營ニ係ル漢字新聞ニシテ昨年度迄外務省ノ補助受ケ居リタルカ今次排外運動ノ勃發ト共ニ編輯主任名義ニテ發行ヲ繼續シ居リタリ)ヲ日本帝國主義ノ宣傳機關ナリトシテ之カ排斥ヲ決議シ超エテ十四日山東報界公会モ亦同新聞社ノ除名ヲ決議シ且各機關、団体、商店等ニ対シ講読並ニ廣告登載ノ停止方ヲ勧誘スルコトシタルカ右ハ同社編輯主任ニ心ヨカラサ

ルモノノ使喚ニヨルモノナル処当方ノ取締方申入ニヨリ其後何等支障ナク發行ヲ継続シ居レリ

四、濟南回教外交後援会ノ成立

当地回教徒ヨリ成ル濟南回教外交後援会ハ本月六日成立シ市民雪恥会ニ加入スルコトナリ同時ニ対日英経済絶交、滬案後援ニ付各界ト一致行動スヘキ旨宣言ヲ発シタルカ右ハ支那側同業者振業火柴公司ノ後援アリト称セラレ邦人経営ノ当地青島燐寸工場ハ操業ノ開始ニ付甚タ憂慮シ居リタルモ七月十五日付公第一九一号報告ノ通十日決然作業ヲ開始セシメ目下原状ニ恢復シ居レリ

五、支那側官憲ノ取締

七月八日当地警察庁ハ各区警察署宛外人保護ノ通令ヲ発シテ食料品ノ買入及乗車等ニ妨害スルモノアラハ之ヲ拘禁シ又外人雇傭支那人ノ罷業ヲ取締ラシメ尚十七日ニハ排外運動ニ關係アル各会々場ヲ封鎖シタルヲ以テ目下当地ニ於ケル排外運動ハ已ニ終熄ノ状態ニアリテ乗車等ノ不便モ漸次緩和セラレツツアリ又本件運動ニ刺激セラレタル奉天兵ノ暴行モ昨近漸ク減少セリ

本信写送付先 在支公使、在奉天、天津、青島、上海、

四九二 七月三十日

在張家口根津領事ヨリ
幣原外務大臣宛

上海事件ニ關連セル張家口方面ノ排英影響ニ

關シ報告ノ件

機密第四一号

(八月十日接受)

大正十四年七月三十日

在張家口

領事 根津 芳造 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

時局ニ關連セル当方面排英影響ニ關スル件

滬案等ノ時局問題ニ對シ当方面支那官商カ一般的ニ英日經濟絶交等ヲ高唱スルモ邦人及日貨ニ對シテハ何等ノ影響ナク裏面ハ兎ニ角反テ親日傾向ノ認めヘキモノアルハ疾ク拙信及拙電所報ノ如クニシテ依然今日ニ及ヘル処広東沙面事件ニ對シ張都統ハ馮督弁ノ旨ヲ含ミ六月三十日第七混成旅將卒約三千並ニ商、工、紳、学各界ヲ網羅セル群集約四千ヲ指揮シ盛ナル遭難者ノ追悼会及排英示威行列ヲ舉行シ次テ北京各校滬案後援会学生団ノ來張演說並ニ同会印発ノ英人植斃無罪華民ト題スル写真石版圖ヲ停車場及市街要処ニ

漢口、広東、福州各総領事、在南京、芝罘各領事、在博山、張店、坊子各出張所

四九一 七月二十九日

在青島堀内総領事ヨリ
幣原外務大臣宛 (電報)

公民報主筆、機廠従業員等逮捕サレタル件

第一六七号

往電一六五号ニ關シ

其後公民報主筆ノ外社員二名モ逮捕セラレ社長ハ逃亡シ又機廠職工等七名逮捕セラレタル為紡績罷工煽動者ハ依然姿ヲ隠シ居リ三社共引続キ常ノ如ク操業シ居レリ尚大康及内外綿ニ在リテハ往電第一五九号要求条件ニ對シテ特ニ職工側代表者ヲ見出し難キニ付二十五日把頭連ヲ呼出し到底考慮ノ余地ナキ旨ヲ申渡シタルニ彼等ハ其儘引取り其後何等申出テモ無キ趣ナリ

北京、上海へ転電シ奉天、天津、濟南へ暗送セリ

貼布シ排英思想ヲ鼓吹以來英人ニ對スル官民ノ惡感極度ニ激成セラレタル為メ忽チ市中ニ英人ノ影ヲ没スルニ至レリ越テ本月上旬本埠商会ハ張都統ノ命ヲ受ケ英貨抵制ヲ実行セムカ為メ商会ヨリ英國製捲煙草、化粧品、布疋等ヲ售売スル店舗ニ派員該貨ニ加封シ密売者ニハ売国奴トシテ制裁ヲ加ヘ他面英商ノ輸入及運出貨物ヲ検査シ其ノ活動ヲ抑制セシメムカ為メ張都統發起ノ下ニ別紙訳文ノ如ク官民ヨリ成ル察哈爾提唱國貨委員會ナルモノヲ組織シ実業厅长ヲシテ委員長ニ任シ先ツ官督商弁ノ捲煙草製造工場 (資本金三千元一株二十元) ヲ設立中ナルカ如ク英商ハ殆ト致死傷ヲ負ヒ現ニ閉店セルモノアリ勢ヒ全部退去ノ余儀ナキニ至ルヘキカ (別紙英商店舖調査表参照)

要之所謂西北政府主ナル官民ニ依リ組織セラレタル前記機關ハ國貨提唱ト称スルモ排英ヲ目標トシテ具体化セルモノニシテ未タ各地ニ此ノ類ヲ見サルカ如ク加フルニ当地軍民行政機關ノ幹部ハ殆ト全部馮玉祥ノ新旧部下ニ係リ其ノ規律節制ニ於テ比較的好評アルモ他面偏頗執拗ノ嫌アルヲ免カレストハ均シク衆ノ認識セルトコロ旁々次テ当方面ノ關スル限り此種排英思想ハ深ク根蒂シ容易ニ刈除シ能ハサル

モノアルヘキ乎

本信写送付先 在支公使、在天津総領事

(欄外記入) 支那官憲カ公然組織スル排英運動

(別紙)

察哈爾提唱国貨委員會暫行規程

- 第一条 本会ハ察哈爾提唱国貨委員會ト称ス
- 第二条 本会ハ国貨ヲ提唱シ工業ヲ振興シ永ク資本ノ漏洩ヲ絶チ利権ヲ挽回スルヲ以テ目的ト為ス
- 第三条 本会ノ事務所ハ暫ク復旦工廠内ニ付設ス
- 第四条 本会ハ委員制ト為シ凡ソ本区各機關首領、総商会正副会長、中等以上各學校校長、区議員長及地方重要紳士ヲシテ均シク委員ト為スコトヲ得
- 第五条 本会ニ委員長、副委員長各一名ヲ設ケ委員ヨリ之ヲ互選ス
- 第六条 本会委員ハ各科ニ分チ弁事ス下ノ如シ
- 一 総務科 文書機密會計庶務議事等ノ事項ヲ掌リ政務庁長道尹市政会弁ノ兼充委員者ヲ以テ之ヲ担任ス
- 二 調査科 英国貨物ノ種類及其他必要事項ノ調査ヲ

掌リ警察庁長商會長校長ノ兼充委員者ヲ以テ之ヲ担任ス

三 検査科 英国貨物販運ノ検査事項ヲ掌リ財政庁長交渉員三税関監督総弁之兼充委員者ヲ以テ之ヲ担任ス

四 宣伝科 文書鼓吹及口頭宣伝事項ヲ掌リ教育庁長各學校ノ兼充委員者ヲ以テ之ヲ担任ス

五 工業科 国貨勸業場工廠及奨励促進事項ノ籌画ヲ掌リ実業庁長道尹復旦廠長ノ兼充委員者ヲ以テ之ヲ担任ス

六 交際科 対外一切ノ接洽事項ヲ掌リ煙酒局長交渉員審判処長市政会弁商會々々長区議員長及紳士ノ兼充委員者ヲ以テ之ヲ担任ス

第七条 各科ニ委員二名以上アラハ一名ヲ推定シテ主任ト為ス

第八条 本会ハ重要ニシテ通常ナラサル事項ヲ処理スル時ハ委員過半数出席議決ヲ經ルヲ以テ有効ト為ス

第九条 本會議事ノ普通方式ハ均シク其他會議ノ慣例ニ依リ之ヲ行フ

第十条 本会ハ各界ト連絡シテ積極ニ資金ヲ募リ各種工廠ヲ創弁シ考查發明ヲ為スヘシ其ノ模造ニシテ有効ナルモノニハ斟酌奨励ヲ与フ其ノ方法ハ実業庁長之ヲ定ム

第十一条 英貨ノ販運ヲ検査スル弁法ト查獲沒収ノ給獎ハ本会別ニ之ヲ定ム

第十二条 本会ノ事務員夫役ハ暫ク実業庁復旦工廠市政廠ノ員丁ヲ以テ兼任シ事務繁多ナル時ハ他ヨリ臨時ニ之ヲ雇用ス

第十三条 本会員ハ均シク名誉職トス

第十四条 但必要費用ハ都統ニ呈請ヲ得テ之ヲ酌給ス

第十五条 各機關職員兵役ノ日常用品ハ万已ムヲ得サル必需品ノ洋貨(時計電氣物品ノ類ニシテ国内ニ絶對ニ代用品ナキモノヲ以テ限リト為ス)ヲ除ク外最先ニ一律国貨ニ改用スヘシ

第十六条 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ実行ス

以上

察哈爾提唱国貨委員會職員表(括弧内筆者記入)

委員長 龔柏齡 (実業庁長)

副委員長 袁勵衡 (交通銀行行長)

總務科 主任 丁春膏 (興和道尹)

副主任 范慶煦 (政務庁長)

廖世經 (市政籌備処会弁)

調査科 主任 鄭欽 (中学校長)

副主任 劉開芬 (商會會長)

王冠軍 (警察庁長)

委員 劉斗光 (商會副會長)

永祺 (信成銀号)

同 侯呈祥

同 王運昌

同 武光生 (裕通銀号)

同 程廷模

検査科 主任 莊璟珂 (張虎多税関監督)

副主任 過之翰 (財政庁長)

包世傑 (特派交渉員)

委員 扈天魁 (税関公署総弁)

主任 王維藩 (教育庁長)

副主任 李景 (輔治宣講所員)

工業科	委員	崔毓珍 (同)
	同	李培元
	同	李章
	同	米及秭
	主任	龔柏齡 (実業庁長)
	副主任	趙 蓋
	委員	張乃源 (中国銀行々長)
	委員	高兆夔 (金城銀行々長)
	同	馬增琳
	同	張万善
	同	楊文煊
	同	張礪生 (省議會議員)
交際科	副主任	孫 灝 (煙酒公売局々長)
	副主任	李世俊
	委員	王廷弼 (審判処々長)
	委員	王廷弼 (審判処々長)

(別紙)

英商店舗調査表 (大正十四年二月察哈爾特派交涉署調査)

店名	種別
----	----

亜細亞煤油公司	石油商
平和洋行	毛皮、雜穀商
怡和洋行	毛皮商
極東貿易公司	同
合發洋行	自働車業
仏業洋行	金屬商
隆祥洋行	自働車付属品商
東方洋行	皮毛、雜貨商
英米煙草公司	煙草商
華泰洋行	毛皮商
永豐洋行	同
協成洋行	同
克福公司	毛皮、雜穀商
隆茂洋行	毛皮
永利洋行	同
協(?)洋行	同
新泰興洋行	同
聚立洋行	同
新旗昌洋行	同

惠茂洋行

同

物産輸出有限公司

同

植昌洋行

同

北記洋行

同

西密得洋行

同

永發洋行

同

普綸洋行

同

慎德洋行

同

益昌洋行

同

因ニ以上店舖中多クハ英商ヲ標榜スルモ露、独、支人經營ノモノアリ或ハ買弁ノ經營ニ委シ居レルモノアリ英商直接經營セルモノハ五戸約十名ニ過キス而シテ英人ノ居住者ハ雜穀及毛皮ノ出廻季節ニ多ク三十名以上ヲ算スルコトアリト云フ

四九三

八月五日

在天津有田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

天津日報印刷職工同盟罷工ニ関シ報告ノ件

公信第三八一号

(八月十四日接受)

大正十四年八月五日

二 中国ノ排日排英運動狀況 四九三

在天津

總領事 有田 八郎 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

天津日報印刷職工同盟罷工ニ関スル件

当地本邦人ノ經營ニ係ル天津日報社使用支那人職工二十六名ハ去ル六月十日該社職工長中野敏三郎ノ虐待ニ堪ヘサルヲ以テ之ヲ解雇セヨトノ理由ニテ突然同盟罷工セルニ付當時該社ハ事實取調ノ結果該職工ノ要求ヲ容レ中野ヲ解雇シタルヲ以テ彼等ハ其ノ翌日ヨリ全部復業スルニ至リタリ然ルニ其ノ際朝鮮人職工鄭清 (本人ハ普通ノ職工ナルカ日支語ヲ解スル為彼等ノ仲介ヲ為ス) ハ支那人職工等ニ對シ給料ノ増額 (大人四弗小兒二弗宛ツ) ヲ約セリト稱シ七月末給料ノ支払ニ當リ之カ実行方ヲ迫リタルモ該社ニ於テ毫モ関知スルトコロナキヲ以テ断然之ヲ拒絕シタルカ該職工等ハ之ヲロ美トシテ本月一日再ヒ全部同盟罷業ヲ為スニ至レリ而シテ該社ニ於テハ仮令一日タリト休刊スルヲ苦痛トシ如何ニカシテ発刊ヲ繼續セント種々焦慮セル折柄該職工側ヨリ前記要求額ヲ半減シテ復業センコトヲ申出テタルヲ以テ之ヲ容レタル処突然印刷工会 (滬案發生以来当地仏租界ニ

於テ秘密ニ会合シ居ルモノノ如シナル者現ハレ別記ノ如キ条件ヲ提出シテ本件ノ調停ヲ申出テタルカ該条件ハ到底其儘認容シ得ヘキ性質ノモノナラサルノミラナス其ノ措置如何ハ自然他ノ工場ニモ影響スヘキモノト思惟シ該社ハ断然右要求ヲ拒絕シテ新タニ職工ノ募集ニ着手シタルトコロ彼等ハ前記印刷工会ト連絡シテ応募職工ニ対シ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘテ出社ヲ阻止スル等之カ妨害の行動ニ出ツル形跡アルヲ以テ当館ヨリ支那警察官憲ニ対シ之カ保護取締方嚴重交渉ノ結果漸次応募者ヲ見ルニ至リ目下約二十名ニ達シ居ルヲ以テ兩三日中ニハ復旧発刊ノ運ニ至ルヘキ見込ナル趣ナリ別ニ大事ニ至ルカ如キコトナキモノノ如ク思料スルモ一応報告ス

本信写送付先、在支公使、上海、漢口、青島各総領事、

南京領事

(別記)

契約証案訳文

天津日報職工趙玉琦、徐永綱、呂銳、安仲元、陸葆楨等二十六名ハ工賃僅少ニテ生活ヲ維持スル能ハサルニ付天津日報社經理ニ対シ一ヶ月二元ノ増額ヲ要求シ若シ之ヲ容レラ

四九四 八月十日

在天津有田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛

宝成紗廠職工罷工並ビニ北洋紗廠職工ノ罷工

ニ関シ報告ノ件

公信第三九一号

(八月二十二日接受)

大正十四年八月十日

在天津

総領事 有田 八郎(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

宝成紗廠職工再罷工並ニ北洋紗廠

職工ノ罷工ニ関スル件

当地宝成紡織工ノ罷工ニ関シテハ曩ニ七月十八日付機密第七七号ヲ以テ及報告置タル処其後同紡織工再罷工ヲナシ当北洋紡織工モ同様罷工セルニ付茲ニ一併報告ス
本信写送付先 在支公使、上海、青島、漢口各総領事

記

当地宝成紗廠ノ職工ハ曩ニ七月十五日賃銀値上ト大洋払トヲ要求シ罷工ヲナシ会社側ニテハ其要求ヲ容レ都合三割引上ノ下ニ円満解決ヲ告ケ翌十六日より復職セシカ本月八日

レサルトキハ罷工ヲ行フ旨要求セルヲ以テ印刷工会ハ其間調停ニ立チ左記条件ニテ円満解決ヲ計ラントス

一、工賃ハ一人一ヶ月二元ヲ増スコト 民国十四年七月ヨリ実行シ既給ノ七月分ハ追給スルコト

二、欠勤スルモ工賃ヲ控除セサルコト

三、工場ニ工場ヲ設ケサルコト 工場内部ノ事項ハ工人全部ニテ処理スヘク工人ノ雇入解雇トモ工人全部ノ協議ニヨリ処置スルコト

四、工場主ハ何等ノ理由ナク工人ヲ解雇スルヲ得ス

五、今期罷工中ノ工賃ハ控除スルヲ得ス

六、就業時間ハ従前ノ如ク新シク規定ヲ設ケサルコト

七、工人ヲ虐待セサルコト

本条件ハ天津日報代表、工人代表、印刷工会代表ノ三者調印シ各一通ヲ保持シ若シ履行セサルモノアルトキハ調停人ハ本契約ニ基キ解雇ヲ場主ニ請求シ或ハ工人ニ罷工セシム
民国十四年八月三日

天津日報社

契約人 天津日報工人代表

天津印刷工会代表

ニ至リ同廠職工ハ再ヒ罷工ヲ行ヘリ右ハ主トシテ前記賃銀引上不履行ニ起因スルモノニシテ八日より罷工シ始メタル職工ハ九日正午經理室ニ至リ予テ声明セル引上賃銀ノ支給方ヲ要求セルニ会社側ニテハ目下資金欠乏ノ為メ実行出来難キ旨ヲ回答セルヨリ集合シ居タル職工一同ハ大ニ怒リ直ニ硝子窓、電話機、什器等ヲ破壊シ始メタリ是ニ於テ会社側ニテハ急ヲ警察庁ニ告ケ来場ヲ乞ヒ丁警察庁長ハ自ラ一連(六十名)ノ保安隊ヲ從ヘ現場ニ急行シ只管両者間ノ仲裁ニ努メタルカ其結果会社側ヲシテ曩ニ承認シタル工賃ハ至急支払ハシムルコト及臨時作業ニハ別ニ賃銀ヲ与ヘシムルコトトシ両者間ノ諒解成リ翌十日ヨリ就業平常ニ復セリ尚北洋紗廠ノ職工モ九日夜ヨリ休業シ是亦賃銀値上ヲ要求セルカ特別第一区警察署長ノ仲裁ニテ大体日給三、四角ヲ受クルモノニハ五仙七、八角ノモノニハ二、三仙位ノ値上ヲナスコトヲ会社側ニテ承認シ十日午後七時両者ノ了解出来十一日より平常通り就業ノ筈ナリ但シ右値上ハ決定的ノモノニ非ス只此ノ程度ノ値上ヲ実行スヘシトノ声明ナリシト云フ

四九五 八月十五日 小泉支那駐屯軍司令官ヨリ
金谷參謀次長宛(電報)

李景林ガ排日的報道ノ鎮庄ニ努メツツアル旨
報告ノ件

天電第一〇一号 (八月十八日外務省接受)

一、裕大紡績暴動ニ関スル直隸系華北通信ハ七、八名ノ日本人カ支那職工ニ発砲シテ事端ヲ醸シ工場破壊モ日本人ノ手ニテ行ハレ日本人ノ負傷者ハ自ラ傷ツケタルモノナリト宣伝シ二、三ヲ除ク支那新聞之ヲ転載シ下層民ノ信スル所トナレリ日本側ニ於テモ之カ對抗宣伝ヲ行ヒ一方李景林モ此種ノ記事ヲ差止メツツアルモ下層民ハ国民党系直隸系ノ新聞ヲ信シツツアリ其他日本人ニ不利ナル流言謠言多シ

二、外事新聞ハ勿論支那新聞ニテモ段派ノ大公報、張作霖ニ買収セラレタル益世報、李景林ノ機関タル漢文泰晤士報等ハ日本側ニ有利ナル論評ヲ發表セルモ他ノ新聞ハ多ク捏造記事ノ報道ヲ以テ日本側ヲ傷ケ論評ヲ避ケツツアリ是レ李景林ノ高圧手段ヲ虞ルルニ依ル

三、補縛セラレタル南開大学学生ニ対シ学生下層民ノ同情

絶交規定ニ関スル件

九月十三日開会ノ煙台市民滬案後援会大会ニ於テ決定ヲ見タル対英經濟絶交規定別紙ノ通報告ス

本信写送付先 在支公使、在青島総領事、在濟南総領事
代理

(別紙)

昨十三日午後四時煙台市民滬案後援会ハ総商会内ニ於テ全体大会ヲ開キ商務総会會長澹台玉田(英商和記洋行買辦ハ先般辭セリ)及系業公会総辦事員倪頤庭二名差支アリテ欠席セルヲ除キ来会者約八十名ニテ席上王震東ヲ臨時主席トナシ先ツ開会ノ主趣及経過ノ模様ヲ報告シ前回会合ニ排日貨ヲ取消シ専ラ排英実行ヲ通過シタルニ付徐宗民、崔准吾両氏発起シ市民会内ニ対英經濟絶交部ヲ設ケ既ニ其ノ大綱規程ヲ定メタルヲ以テ各自遵守スヘシ云々ト玆ニ同規程ヲ訳録スレハ左ノ如シ

煙台市民後援会对英經濟絶交部規程

一、本部ヲ対英經濟絶交部ト称ス

一、当地市民ニシテ愛国熱心ナル者ハ後援会會員三名以上ノ紹介ヲ以テ本部ニ加入スルコトヲ得

二 中国ノ排日排英運動狀況 四九六

深ク商務総會長ハ已ムナク保釈ヲ願ヒ出テタルモ招商局ハ応セサルナラン

四、其他市中排外「ビラ」撤去等李景林ハ極力鎮庄ニ努メツツアリ諸運動全ク終熄ノ姿ナルモ民心ハ之ヲ喜ハス他日更ニ大ナル規模ヲ以テ爆発スルノ時期ナキヤヲ虞ル裏面ニ曹銳、吳景濂、孫洪伊ナトノ活動アリ赤露ノ露骨ナル煽動アリ益々此ノ感ヲ深カラシム
關東、北京、坂西、上海、奉天スミ

四九六 九月十四日 在芝罘別府領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛

上海事件芝罘後援会ニ於ケル対英經濟絶交規定ニ関シ報告ノ件

公第二七七号 (九月二十四日接受)

大正十四年九月十四日

在芝罘

領事代理 副領事 別府 熊吉(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

芝罘滬案後援会ニ於ケル対英經濟

一、本部ニハ執行委員七名、書記一名、調査員五名ヲ置ク
(一)本部委員ハ一切ノ事務ヲ管掌シ毎日事務ハ前後ニ二分シ交代ニテ文書ノ受発其他ノ処理ヲ司ル(二)、書記ハ委員ノ命ヲ承ケ本部ノ事務ヲ処理ス(三)、重要事項ハ即日全委員ヲ召集シ會議ノ上之ヲ解決ス(四)、本部事務ノ進行方法ハ隨時市民後援会ニ報告ス若シ困難ナル事務ハ諮議ヲ經テ処理ス

一、調査委員ハ專任英貨ヲ調査シ之ヲ本部ニ報告スヘシ調査方法ヲ下ノ如ク定ム「碼頭調査」本委員ハ碼頭団員ト協同シ毎日交代ニテ各碼頭及商店倉庫並ニ英貨ノ運搬等ヲ調査シ即時調査表ヲ作成シ之ヲ本部ニ報告スヘシ「商店調査」警察行政区画ニ基キ五班ニ分チ各商店ノ英貨ヲ專任調査シ表ヲ作り之ヲ報告スヘシ「陸路調査」各地方通路口ニ於テ英貨ノ搬出ヲ調査ス(密查班)以上各分担者ニテ調査不充分ナル方面ノ英貨運搬ヲ專ラ調査ス毎隊隊長ヲ推シ責任ヲ負ハシメ報告ハ隊長ノ署名捺印ヲ以テス「賞罰」国家団規則ヲ適用シ之ヲ取捨シテ施行ス(會議)每週日曜日ニ執行委員會ヲ開催ス「徽章」本部調査員ハ本部徽章ヲ佩用シ識別セシム(經費)會計簿ヲ備ヘ収支一切

四六三

ノ費用並ニ殘額即チ後援会交付金ヲ以テ限界ト為ス「付則」酒精ハ衛生上有害物品ナルヲ以テ何国ノ貨物ニ論ナク調査シ責任ヲ以テ本部之ヲ禁止ス本規程ニテ完全ナルサル規程ハ臨時大会ヲ經テ之ヲ修正スルコトヲ得

右規程ヲ慎重討論ノ結果全員異議ナク議決シ亜テ吳敬之、徐宗民、鄭伯維、王震東、崔唯吾、文景星、宋雨田、王錫芹、陳香山、王蘭亭ノ十名ヲ委員ニ撰任表決シタリ同委員ヨリ吳敬之ヲ總委員長トシ又本部書記ハ成立ト共ニ商会書記ト交代シ近來商務繁忙トナリ其範圍逐日増大スルヲ以テ事務多忙ヲ極メ整理ニ暇ナキ勢ナルヲ以テ尚書記一名ヲ雇傭スルコトトシ俸給二十元内外ヲ給シ尚調査員ヲ國貨団經濟絶交同志会ヨリ五十名推挙スルコトニ取極メ議決規程ニ基キ明十五日火曜日午後三時ヨリ討論会ヲ再開スルコトトシ散会シタリ

(3) 揚子江流域及比華南

四九七 六月二日 在南京林出領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

上海事件ニ関スル南京学生ノ示威運動ノ際撤

前通過ノ際南京国民外交会ノ名ニ於テ小官宛ノ書状ヲ門番ニ手交シテ通り過キ英國總領事館門前ニ於テハ道路ニ机ヲ持出シテ演説ヲ為スモノアリシモ暴行ヲ為サス下関ニ至リ揚子江岸ニ出テ次第ニ解散セリ右小官宛書状ノ内容左ノ如シ

今回上海ニ於ケル英國巡捕ノ支那人慘殺事件ハ人道ニ反シ國權ヲ害ス南京市民ハ憤激ニ堪ヘス昨日全省市民大会ヲ開キ左ノ各条ヲ一致可決セリ

- 一、直ニ租界ヲ回収スルコト
- 二、直ニ領事裁判權ヲ取消スコト
- 三、被害支那人ヲ賠償撫恤スルコト
- 四、今回事件ノ責任者及下手人ヲ嚴罰スルコト
- 五、今回事件ニ關係アル国ノ政府ハ支那政府及上海市民ニ陳謝スヘシ

六、關係国政府ハ在支ノ自国民ヲシテ再ヒ斯ル暴行ヲ為サシメサルコトヲ保障スヘシ

七、日本内外棉会社ハ罷工職工ノ要求条件ヲ履行スヘシ

八、逮捕学生及商人ヲ直ニ釈放スヘシ

以上ノ条件ハ既ニ南京ノ英國總領事ニ提出シ同国政府ニ転

布セル伝單内容報告ノ件

第三三三号 (六月三日接受)

上海租界巡查ノ支那学生射殺事件ニ関シ六月一日以来当地学生ノ示威行列伝單撒布街頭演説等ヲ行ハレツツアルモ未タ乱暴ヲ為ス者ナシ伝單ノ主ナルモノハ「洋人同胞ヲ殺ス洋貨抵制シ之ニ對抗スヘシ日英海軍上陸シ同胞二十四人ヲ慘殺ス何レモ奮起力争セヨ洋人同胞ヲ殺セリ彼等ノ為メニ動クナカレ彼等ト取引スルナカレ」等ニシテ一般ニ排外熱ヲ煽リツツアリ

北京、上海へ転電シ漢口、青島、濟南、天津へ暗送セリ

四九八 六月四日 在南京林出領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

南京学生ノ示威行動ニ当リ南京国民外交会ノ
名義ニテ我ガ領事ニ書状手交ノ件

第三五号 (六月五日接受)

往電第三四号ニ関シ

六月四日当地学生約五千名午前九時頃ヨリ城内ニ隊伍ヲ整ヘ下関ニ向テ進行シ沿道演説ヲ為シ又ハ伝單ヲ撒キ当館門

達シ貫ヒタルモ抑本件ハ日本内外棉会社ニ於テ支那人ヲ傷害セシコトニ起因シ其ノ原因ニ溯レハ日本モ亦相当ノ責任ヲ負ハサルヘカラス貴領事ニ於テモ注意ヲ加ヘラレンコトヲ切望ス云々

在支公使、上海ニ転電シ奉天、広東、福州、青島、濟南、漢口、宜昌、杭州、天津、蘇州ニ暗号ノ儘郵送セリ

四九九 六月四日 在長沙清水領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

長沙学生団ノ排日英デモ舉行決議ノ件

第一二号 (六月五日接受)

往電第一〇号ニ関シ

当地排英運動ハ三日午後ヨリ排英日ニ化シ多数ノ学生ハ市内各所ニ於テ日英ヲ対象トシ經濟断交其他対策ヲ講演力説スルト共ニ同様ノ伝單ヲ撒布シツツアリ尤モ英國ニ対スル報復性濃厚ナルモノノ如ク認メラル学生側ハ五日游街ヲ舉行スルコトヲ決議セリ

戒嚴司令ニ於テハ学生側ニ於テ各学校毎ニ其責任者ヲ定メ届出テ秩序ヲ案ササルニ於テハ之ヲ許可スル意向ナリ